

## 資 料 一 覧

- 次 第
- 第6回復興道路会議～宮城県～ 配席図
- 復興道路会議～宮城県～ 構成員
- 復興道路会議～宮城県～ 規約
- 復興道路・復興支援道路の概要
- 復興道路・復興支援道路（宮城県内の概要）
- 資料－1 復興道路・復興支援道路の各路線別進捗状況
- 資料－2 各事業区間の進捗状況
- 資料－3 宮城県の復興道路関連事業の進捗状況
  - 3－1 宮城県
  - 3－2 宮城県教育委員会
  - 3－3 宮城県森林整備課
- 資料－4 復興道路・復興支援道路の「見える化」  
【国土交通省の取り組み事例】
- 資料－5 事例発表【宮城県】
- 資料－6 事例発表【宮城県道路公社】
- 資料－7 事例発表【東日本高速道路株式会社】
- 資料－8－1 事例発表【石巻市】
- 資料－8－2 事例発表【南三陸町】
- 資料－8－3 事例発表【多賀城市】

## 第 6 回 復 興 道 路 会 議 ～宮城県～

日 時：平成 2 8 年 6 月 1 5 日（水）

1 5 : 0 0 ~

場 所：宮城県庁 1 1 階 第 2 会 議 室

### 議 事 次 第

#### 1. 挨 拶

国土交通省 東北地方整備局 道路部長

宮城県 土木部長

#### 2. 議 事

1) 復興道路・復興支援道路の今後の進め方  
について

資料 1 ~ 4

2) 復興道路等を活かした地域振興支援策、  
地域づくり事例の情報共有について

資料 5 ~ 8

3) その他

日時：平成28年6月15(水)  
15:00～  
場所：宮城県庁 11階  
第二会議室

# 第6回 復興道路会議～宮城県～ 配席図

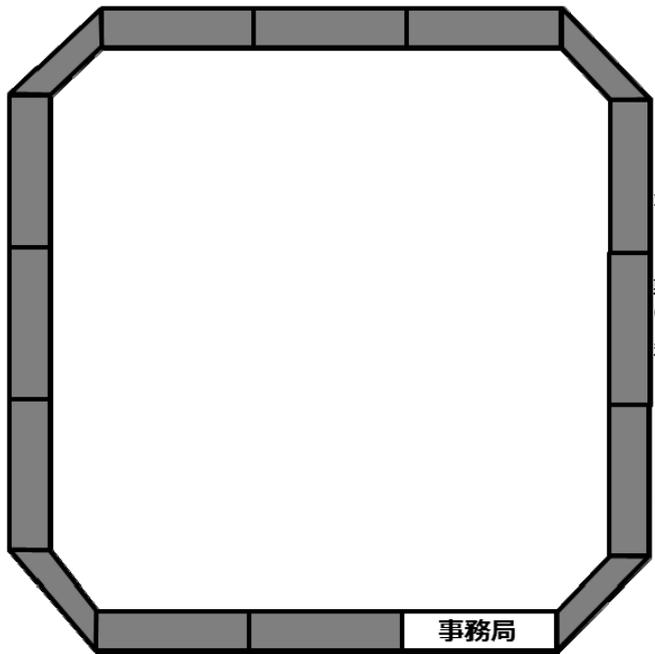
出入口

宮城県 農林水産部長  
後藤 康宏  
(代理 森林整備課長 田中 均)

宮城県 土木部長  
遠藤 信哉

東北地方整備局 道路部長  
山田 哲也

復興庁 宮城復興局次長  
丸田 雅博



宮城県教育委員会教育長  
高橋 仁  
(代理 教育次長 西村 晃一)

石巻市副市長 菅原 秀幸

登米市副市長 栗山 健作

松島町副町長 熊谷 清一  
(代理 建設班 班長 梁川 秀幸)

宮城県商工会議所連合会  
常任幹事 間庭 洋  
(代理 中小企業支援部長 清水 勝敏)

仙台経済同友会 事務局長  
金田 隆

仙台市副市長 稲葉 信義  
(代理 道路計画課 主幹 菅野 明彦)

気仙沼市副市長 菅沼 真澄  
(代理：三陸道・大島架橋・唐桑 最短道整備促進課長 齋藤 潤)

栗原市副市長 佐藤 智  
(代理 建設部次長 五十嵐 文男)

利府町副町長 伊藤 三男  
(代理 都市整備班 班長 上野 昭博)

女川町副町長 東野 真人

南三陸町副町長 最知 明広  
(代理 建設課 課長補佐 阿部 誠)

事務局

宮城県 道路課長  
後藤 寿信

東北地方整備局 道路計画第一課長  
金森 滋

東北地方整備局 仙台河川国道事務所長  
松居 茂久

東日本高速道路(株) 建設事業部長  
梅木 秀郎

宮城県道路公社 建設部長  
伊藤 多寿治

随席

随席

出入口

記者席

随席

「復興道路会議～宮城県～」

役 職 名	氏 名
宮城県土木部長	遠藤 信哉
宮城県農林水産部長	後藤 康宏
宮城県教育委員会教育長	高橋 仁
仙台市副市長	稲葉 信義
石巻市副市長	菅原 秀幸
塩竈市副市長	内形 繁夫
気仙沼市副市長	菅沼 真澄
多賀城市副市長	鈴木 明広
登米市副市長	栗山 健作
栗原市副市長	佐藤 智
東松島市副市長	古山 守夫
松島町副町長	熊谷 清一
利府町副町長	伊藤 三男
女川町副町長	東野 真人
南三陸町副町長	最知 明広
宮城県道路公社 建設部長	伊藤 多寿治
一般社団法人東北経済連合会 専務理事	大江 修
宮城県商工会議所連合会 常任幹事	間庭 洋
仙台経済同友会 事務局長	金田 隆
東日本高速道路株式会社東北支社 建設事業部長	梅木 秀郎
復興庁 宮城復興局次長	丸田 雅博
国土交通省 東北地方整備局 道路部長	山田 哲也
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所長	松居 茂久

敬称略

# 復興道路会議～宮城県～

## 規約

### (名 称)

第1条 本会議は、「復興道路会議～宮城県～」と称する。

### (目 的)

第2条 本会議は、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとなる復興道路等の早期完成を図るため、全ての関係者に対する事業進捗への合意形成と、国・県・市町村・関係機関の連携による課題解決を目的として開催する。

### (協議事項)

第3条 本会議は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる連絡及び調整を行う。

- 一 事業の合意形成に関する事項
- 二 事業促進の課題解決に関する事項
- 三 その他本会の目的を達成するために必要な事項

### (対象事業)

第4条 本会議で対象とする復興道路は、以下のとおりとする。

- 一 三陸沿岸道路
- 二 その他

### (組 織)

第5条 本会議は、以下の構成員をもって組織する。

- 一 宮城県、復興庁 宮城復興局  
国土交通省 東北地方整備局、東日本高速道路(株)東北支社
- 二 復興道路等の関係市町村
- 三 地域経済界

### (事務局)

第6条 本会議の庶務は、宮城県土木部及び国土交通省東北地方整備局道路部において処理する。

### (雑 則)

第7条 この規約に定めるもののほか、本会議の運営に関して必要な事項は会議において定める。

# 復興道路・復興支援道路の概要

H28.6.10現在

復興道路・復興支援道路の総延長608km  
 [震災後新規区間247km(約4割)]



路線名	計画延長	開通延長	事業中延長	
			うち震災後開通	うち震災後新規
三陸沿岸道路	約 359km	158km	29km	201km
宮古盛岡横断道路	約 100km	11km	10km	55km
東北横断自動車道釜石秋田線 (釜石～花巻)	約 80km	63km	33km	17km
東北中央道 (相馬～福島)	約 45km	0km	0km	45km
計	約 584km	232km	72km	318km
みやぎ県北高速幹線道路	約 24km	9km	9km	11km
合計	約 608km	241km	81km	329km

# 宮城県内の概要

H28.6.10現在



# 復興道路・復興支援道路の各路線別進捗状況

## 《平成27年度の進捗状況》

- 復興道路・復興支援道路の**用地進捗率は約9割、主要構造物着手率は約7割まで進捗**
- 吉浜道路(3.6km)と登米志津川道路(2km)の開通により、**三陸沿岸道路の開通延長が6km延伸**
- 遠野～宮守(9km)と都南川目道路(2.6km)の開通により、**復興支援道路の開通延長が12km延伸**
- 三陸沿岸道路の**4車線化が8km延伸**(計画延長約52kmのうち、40km開通) 残る12kmは平成28年度開通予定

路線名	計画延長	開通延長 ※	事業中延長 ※	用地進捗率 ※1	工事着手率 ※2	主要構造物 着手率 ※3	主要構造物 完成率 ※4	トンネル掘削 進捗率 ※5	橋の上部工 着手率 ※6
				上段:H27.3.31現在					
三陸沿岸道路	約 359km	152km	207km	約90%	約95%	約70%	約35%	約35%	約45%
		158km	201km	約95%	100%	約80%	約40%	約70%	約60%
宮古盛岡横断道路	約 100km ※	8km	58km	約90%	約75%	約40%	約30%	約10%	約40%
		11km	55km	約99%	約85%	約60%	約35%	約20%	約45%
東北横断道釜石秋田線 (釜石～花巻)	約 80km	54km	26km	約95%	100%	約75%	約55%	約85%	約55%
		63km	17km	約99%	100%	約80%	約65%	約95%	約65%
東北中央道 (相馬～福島)	約 45km	0km	45km	約85%	約90%	約65%	約25%	約55%	約50%
		0km	45km	約94%	100%	約70%	約40%	約80%	約55%
合 計	約 584km	214km	336km	約90%	約95%	約65%	約35%	約35%	約45%
		232km	318km	約96%	約98%	約75%	約40%	約60%	約55%

※未事業化区間約34kmを含む

三陸沿岸道路(4車線化)	約 52km	32km	20km	100%	100%	100%	約90%	—	100%
		40km	12km	100%	100%	100%	100%	—	100%

【宮城県】 みやぎ県北高速幹線道路	約 24km	9km	11km	約85%	約80%	約70%	約65%	—	約65%
		9km	11km	約94%	100%	約70%	約65%	—	約65%

※開通延長、事業中延長は、平成28年6月10日時点

※1: 用地進捗率=取得済面積(ha)÷必要面積(ha)  
 ※2: 工事着手率=工事に着手したIC開延長÷計画済延長  
 ※3: 主要構造物着手率=(着手済+完成済構造物数)÷全構造物数  
 ※4: 主要構造物完成率=完成済構造物数÷全構造物数  
 ※5: トンネル掘削進捗率=トンネル掘削延長÷トンネル計画延長  
 ※6: 橋の上部工着手率=(上部工着手済+完成済橋梁数)÷全橋梁数

## 【宮城県】各事業区間の進捗状況

路線名	事業区間名	延長	開通予定	用地進捗率 (面積ベース)※1	埋蔵文化財 調査完了率 ※2	保安林解除	事業進捗上の課題
				上段:H27.3.31現在 下段:H28.3.31現在			
<b>三陸沿岸道路</b>							
	唐桑高田道路 (唐桑北～陸前高田)	10.0km (2.0km)	H30年度	約99% 約99%	100% 100%	対象外	・用地取得の推進
	唐桑道路	3.0km	H22.12.19開通				
	気仙沼道路 (気仙沼～唐桑南)	9.0km	一部 H31年度	約76% 約80%	約20% 約35%	2箇所/3箇所申請済 1箇所/3箇所解除済	・用地取得の推進
	本吉気仙沼道路	7.1km	H29年度	100% 100%	100% 100%	対象外	
	本吉気仙沼道路 (Ⅱ期)	4.0km	H30年度	約99% 約99%	対象外	対象外	・用地取得の推進
	歌津本吉道路 (歌津～本吉)	12.0km	一部 H30年度	約97% 約99%	約90% 約95%	対象外	・用地取得の推進
	南三陸道路	7.2km	H29年度 (一部 H28年度)	約95% 100%	100% 100%	対象外	
	登米志津川道路	16.1km	H28年度 (一部 H28.4.16開通)	100% 100%	対象外	対象外	
	桃生登米道路	13.8km	H21.3.22開通				
	矢本石巻道路 (4車線化)	26.5km	H28年度 (一部4車線化完)	100% 100%	対象外	対象外	
	仙台松島道路 (4車線化)	18.3km	H27.3.30 4車線化完				
	仙塩道路 (4車線化)	7.8km	H28.3.27 4車線化完				

※ 開通予定は、平成28年6月10日時点

 ※1: 用地進捗率=取得済面積(ha)／必要面積(ha)  
 ※2: 埋蔵文化財調査完了率=本調査完了面積(ha)／調査対象面積(ha)

## みやぎ県北高速幹線道路（復興支援道路）の進捗状況

1) I 期区間（栗原市築館加倉～登米市迫町北方） 延長 L=8.9km

【平成 23 年 11 月 24 日供用開始】

2) II 期区間（中田工区：登米市迫町佐沼～登米市中田町宝江） 延長 L=4.7km

【平成 29 年度供用予定】

○事業着手年度：平成 23 年度

○平成 28 年度は前年度に引き続き地盤改良及び盛土工事、  
および（仮）中田 I C 部の橋梁上部工工事を推進

3) III 期区間（佐沼工区：登米市迫町北方

～登米市迫町佐沼） 延長約 L=3.6km

【平成 32 年度供用予定】

○事業着手年度：平成 25 年度

○平成 28 年度は起点側及び（仮）佐沼 I C 部の地盤改良工  
事の推進，橋梁下部工工事を着手とともに，引き続き用地  
買収を推進

4) IV 期区間（築館工区：栗原市志波姫南堀口～

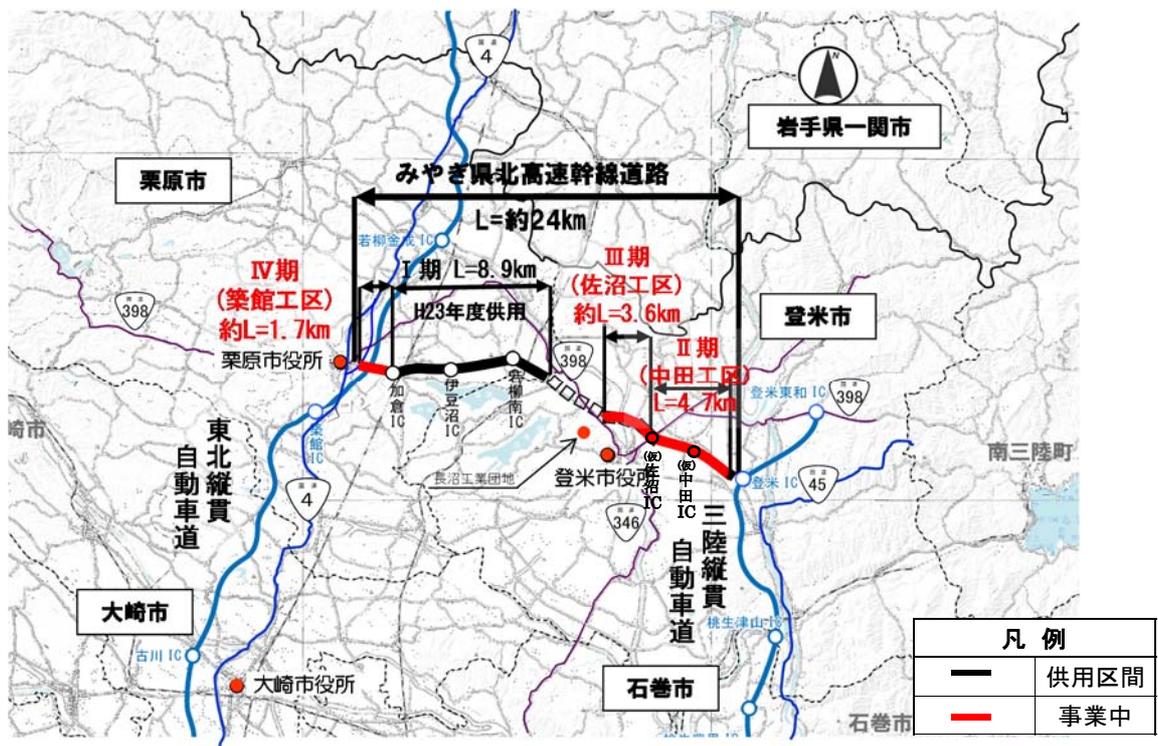
栗原市築館萩沢） 延長約 L=1.7km

【平成 30 年度供用予定】

平成 27 年 7 月 23 日に安全祈願祭を開催

○事業着手年度：平成 25 年度

○平成 28 年度は地盤改良・盛土工事を推進するとともに，東北縦貫自動車道を横断する橋梁上部  
工工事に着手予定



## ■これまでの取り組み事例

### ○県地方機関（栗原地域事務所・登米地域事務所）のホームページによる住民への情報提供

- ◆内容 … 事業目的、整備効果、工事進捗状況等
- ◆更新頻度 … 四半期毎

#### 復興支援道路 第1号

### みやぎ県北高速幹線道路（復興支援道路）第1号

平成27年8月10日発行  
宮城県栗原土木事務所 登米地域事務所

**事業概要**  
みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において東北縦貫自動車道と三陸沿岸道路を東西に結ぶことにより、地方中心都市の相互連携の強化を図るとともに、防災面における道路ネットワークの構築を図る地域高規格道路です。また、本事業は、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトにおいて、復興支援道路として位置づけられています。みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）及びⅢ期（佐沼工区）で、三陸沿岸道路の登米ICから登米市迫町北方までを結ぶこととしています。

**Ⅱ期（中田工区）の進捗状況**  
Ⅱ期（中田工区）については、国道346号と接続する（仮称）佐沼ICの要部から三陸沿岸道路登米IC間の約8.5km区間において、道路改良工事2件と橋梁工事1件の合計3件の工事に着手しております。現在3工区から、軟弱地対応としての地盤改良工事を行っているが、地盤改良が完了したところから、順次、道路舗装工事及び橋梁本体工事に着手する予定としており、平成29年度の完成を目標に事業の進捗を図っております。

**Ⅲ期（佐沼工区）の進捗状況**  
Ⅲ期（佐沼工区）については、5月中旬から6月下旬にかけて、地盤改良の準備を始めた関係者のために協力させていただき、資材の用払調整等を行ってまいりました。現在、立会等の取組を進め、用地買収の範囲などを示した図面の作成を行っており、今後、用地買収に関する説明会を開催するなど、関係者の理解を得ながら、取り決め後の用地買収に向けて準備を進めてまいります。

#### みやぎ県北高速幹線道路（復興支援道路）整備状況

みやぎ県北高速幹線道路は、東北自動車道と三陸沿岸道路を東西に結び、県北各地域の相互連携を強化する地域高規格道路であり、東日本の震災復興支援に向けたリーディングプロジェクトです。

**■中田工区の進捗状況**  
Ⅱ期（中田工区）4.7km区間については、平成26年度から用地買収に着手し、一部の多岐路雑種生地を除き用地取得済みで、平成27年度当初から橋脚・橋脚より地盤改良等工事の本格的な工事に着手し、現在は全区間について工事を実施しています。また、全体盛土量53万m<sup>3</sup>のうち25万m<sup>3</sup>は地盤改良工事から充てられ、資源の有効活用及びコスト削減を図っています。

**■佐沼工区の進捗状況**  
Ⅲ期（佐沼工区）3.6km区間については、平成27年度当初から用地買収に着手し、12月に地盤改良系、翌1月に用地買収を開始し用地取得を進めています。工事は、宮城県道路公社へ委託し、用地取得済みである終点側のⅡ期との接続区間については工事に着手するとともに、用地買収が完了した区間については、資源の有効活用及びコスト削減の観点から、引き続き進めています。

#### みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期（築館工区）事業レポート

平成27年12月25日発行 (第6号)

本事業レポートは、地域住民の皆様へみやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期（築館工区）事業に関する最新の情報を定期的に届けるものです。

**平成27年12月25日現在の工事進捗状況**

(1) 区間では、道路盛土工及び函渠工を行っているところで、盛土については(1)区間の今年度予定している盛土量約5万m<sup>3</sup>のうち、約3万m<sup>3</sup>の納入が完了しました。

写真① (1)区間の工事の様子

(2) 区間では、加音インターチェンジ西側で進んでいた地盤改良工（1332本の杭の打設）が完了しました。1月から盛土工に着手し、年度内に約2万m<sup>3</sup>の盛土を予定しています。

写真② 地盤改良完了後の様子

また、(2)区間では加音インターチェンジの乗り入れ道路を踏切（仮称）取付本線橋基礎杭の打設が本日完了しました。1月から橋台の築造に着手します。

写真③ 基礎杭（鋼管パイルセンター）打設の様子

**用地については9割のご協力をいただきました**

全体面積の9割の用地のご協力をいただきました。引き続き事業推進に努めてまいりますので、ご理解と御協力をよろしくお願いいたします。

**復興 加速 美感受 お問い合わせはこちら**  
宮城県北部土木事務所栗原地域事務所 道路建設班  
〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木5-1 栗原合同庁舎3階  
電話：0228-22-2189 E-mail: nh-khdbkd@pref.miyagi.jp

#### みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期（築館工区）事業レポート

平成28年3月1日発行 (第8号)

本事業レポートは、地域住民の皆様へみやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期（築館工区）事業に関する最新の情報を定期的に届けるものです。

**本線の用地買収が完了しました。**

地域の皆様のご協力により、本線区間の用地約3.3万m<sup>2</sup>の買収が完了し、国道4号第1期バイパスから東北縦貫自動車道を跨ぎ加音ICまで事業用地が繋がりました(※1)。改めて御礼申し上げます。衆ご期待は、早期完成に向け全力で取り組んでまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。  
※1 国道4号バイパス接続に伴う側道用地を除く

**事業用地の現在の状況（H28.2末現在）**

(1) 区間 国道4号第1期バイパスから東北縦貫自動車道側を望む

(2) 区間 東北縦貫自動車道側から加音IC側を望む

(3) 区間 加音IC側から東北縦貫自動車道側を望む

(4) 区間 東北縦貫自動車道側から加音IC側を望む

○ 盛土工や函渠工などを行っています。  
○ 陸揚設置工や表土覆利などを行っています。  
○ 年度より地盤改良工や橋台下部工事に着手する予定です。

**復興 加速 美感受 お問い合わせはこちら**  
宮城県北部土木事務所栗原地域事務所 道路建設班  
〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木5-1 栗原合同庁舎3階  
電話：0228-22-2189 E-mail: nh-khdbkd@pref.miyagi.jp

## ○橋の日（8月4日）パネル展の開催

- ◆8月4日は「橋の日」として、私達の生活と文化に密接な関わりを持つ橋について興味を持っていただくため、大手ショッピングセンターのご協力のもと、橋の日パネル展を開催しました。
- ◆みやぎ県北高速幹線道路では、Ⅲ期佐沼工区でL=741mの（仮称）1号橋を計画しており、パネル紹介しました。
- ◇日時：平成27年8月4日～17日
- ◇場所：イオンタウン佐沼 店内通路



パネル展の状況

#### Ⅲ期（佐沼工区）（仮称）1号橋

1号橋は、みやぎ県北高速幹線道路で一番長い橋梁となっております。この橋は、美田川を渡って、国道398号と立体交差し、続いて、荒川、加田川を渡る予定です。

このように、3河川と国道を1橋で渡る橋は、宮城県が管理する橋梁では、とても珍しい橋梁です。

また、橋長660mは、橋木大橋（南田町・角田市）、目黒大橋（石巻市）に次いで県内で長い橋梁となります。

パネル内容例

## 復興道路建設に関連する埋蔵文化財調査について

宮城県教育委員会

## I. 円滑・迅速な発掘調査の実施のための施策

1. 発掘調査基準の弾力的な運用
2. 発掘調査体制の充実

宮城県教委の調査体制

宮城県教委職員	文化財保護課	21名	平成28年度 合計28名体制
	東北歴史博物館	1名	
	多賀城跡調査研究所	1名	
	自治法派遣職員	5名	

## II. 三陸沿岸道路

## ◆仙塩道路（多賀城 I C 周辺） 対象遺跡：2 遺跡（山王遺跡・市川橋遺跡）

- ・本線4車線化部 平成24年度で調査完了
- ・多賀城 I C 部 平成24～26年度で調査完了

## ◆歌津 I C～岩手県境 対象遺跡：9 遺跡（石川原遺跡・小屋館城跡ほか）

- ・5遺跡 平成27年度までに調査完了
- ・4遺跡 平成28年度以降の発掘調査  
(石川原遺跡・小屋館城跡・卯名沢貝塚・忍館城跡)
- ・今年度は、石川原遺跡、小屋館城跡の北半部、卯名沢貝塚について調査着手予定

## III. 常磐自動車道路（山元 I C～福島県境） 対象遺跡：24 遺跡（涌沢遺跡ほか）

- ・発掘調査は宮城県教委と山元町教委が分担
- ・本線部 平成25年度までに調査完了
- ・坂元スマート I C 部 平成27年度に調査完了

## IV. みやぎ県北高速幹線道路（築館工区） 対象遺跡：2 遺跡（大天馬遺跡・後沢遺跡）

- ・本線部 平成27年度でほぼ調査終了したが、ボックス設置部（大天馬遺跡）、橋脚部（後沢遺跡）については、平成28年度に調査着手予定

みやぎ県北高速幹線道路  
築館工区(大天馬遺跡・  
後沢遺跡)



三陸沿岸道路  
歌津IC～岩手県境  
(石川原遺跡  
小屋館城跡ほか)

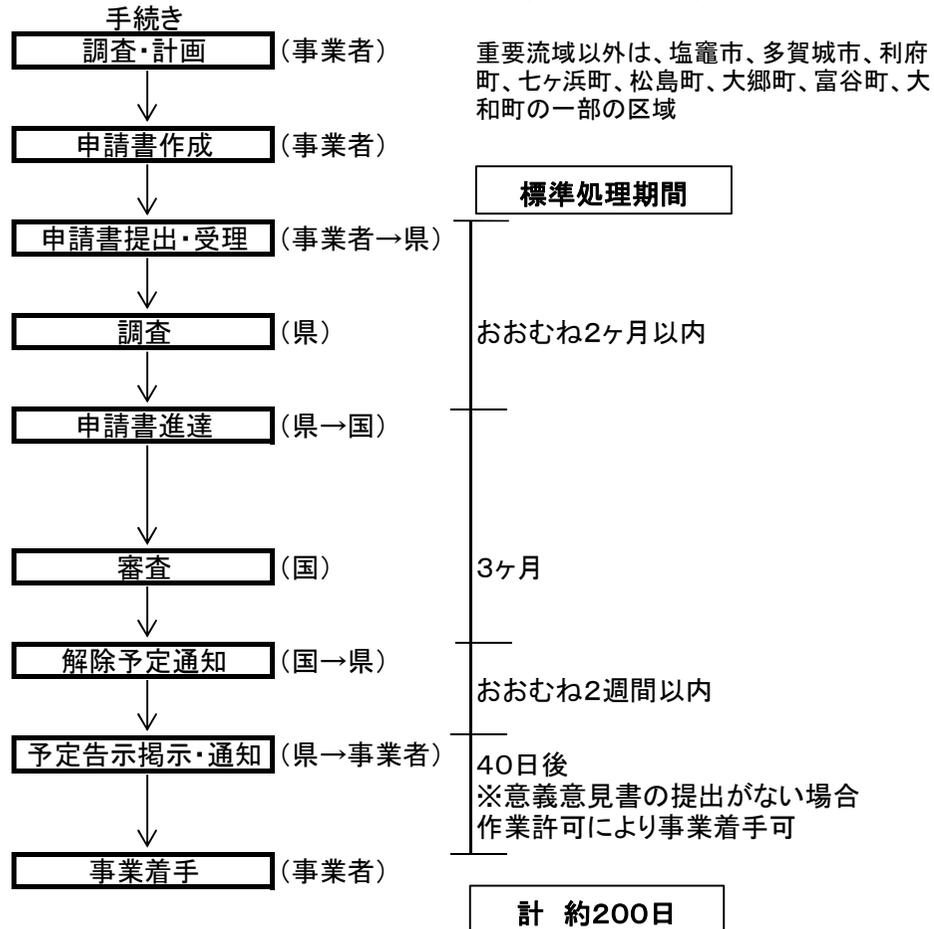
三陸沿岸道路  
仙塩道路(多賀城IC周辺)  
(山王遺跡  
市川橋遺跡)

常磐自動車道路  
山元IC～福島県境  
(涌沢遺跡など  
24遺跡)

復興道路調査

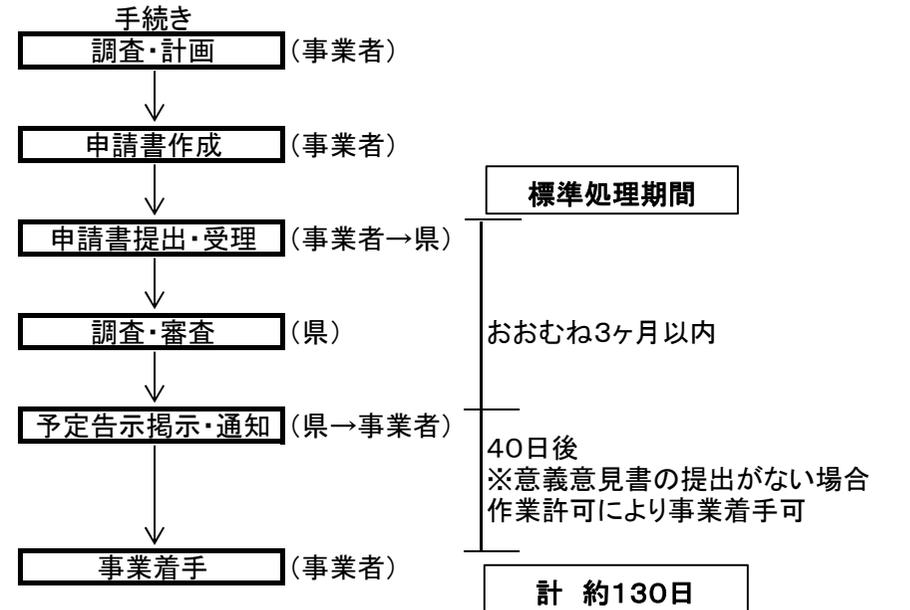
### 保安林解除に関する事業着手までの手続き(大臣権限)

※重要流域内で1～3号(水源かん養、土砂流出防備、土砂崩壊防備)の保安林



※震災復興に係る保安林解除については、国では迅速に処理する方針であり、県においても本庁直轄により処理することにより事務の迅速化を図る。

### 保安林解除に関する事業着手までの手続き(知事権限)



※震災復興に係る保安林解除については、迅速に処理する方針であり、審査期間等の短縮を図る。

復興道路に係る保安林解除予定

申請(予定)年度	事業名	事業主体	保安林の所在	保安林種	解除面積(ha)	申請年月日	予定告示年月日	確定告示年月日	備考
平成27年度	三陸沿岸道路(気仙沼唐桑南間)	国土交通省東北地方整備局	気仙沼市浪板地内	土砂崩壊防備保安林	0.3513	平成27年9月25日			大臣権限

道路建設に係る保安林解除状況

申請年度	事業名	事業主体	保安林の所在	保安林種	解除面積(ha)	申請年月日	予定告示年月日	確定告示年月日	申請から着手までの日数	備考
平成22年度	常磐自動車道福島県境山元IC間	東日本高速道路株式会社	亘理郡山元町真庭地内	土砂流出防備保安林	0.2377	平成22年10月6日	平成24年5月15日	平成24年8月16日	627日	大臣権限
平成23年度	三陸縦貫自動車道登米志津川道路改築事業	国土交通省東北地方整備局	登米市東和町米谷地内	水源かん養保安林	14.2273	平成23年5月31日	平成23年8月9日	平成24年2月27日	110日	大臣権限
平成24年度	常磐自動車道福島県境山元IC間	東日本高速道路株式会社	亘理郡山元町浅生原地内	土砂流出防備保安林	0.0188	平成24年4月12日	平成25年4月23日	平成25年9月26日	416日	大臣権限
平成25年度	一般県道大島波板線道路改良工事	宮城県気仙沼土木事務所	気仙沼市磯草地内	魚つき保安林	0.2633	平成25年7月11日	平成25年10月4日	平成25年11月15日	125日	知事権限
平成25年度	一般県道大島波板線道路改良工事	宮城県気仙沼土木事務所	気仙沼市少々汐地内	土砂崩壊防備保安林	0.1011	平成25年12月2日	平成26年1月17日	平成26年4月17日	86日	大臣権限
平成27年度	(国)398号御前浜(2)道路災害復旧工事	宮城県東部土木事務所	牡鹿郡女川町御前浜字大石角地内	魚つき保安林	0.0159	平成26年6月24日	平成27年2月10日	平成27年5月1日	351日	大臣権限
平成27年度	(国)398号崎山(7)道路災害復旧工事	宮城県東部土木事務所	牡鹿郡女川町桐ヶ崎字崎山地内	魚つき保安林	0.0224	平成26年12月17日	平成27年4月24日	平成27年7月15日	168日	大臣権限

## ◆復興道路・復興支援道路の見える化(平成27年度)

○起工式、現場見学会、自治体での事業進捗等の見える化を紹介

## ◆復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み

### ○住民参加による各種式典の開催

・式典への住民参加事例を紹介

### ○現場見学会における進捗状況の説明

・夏休みを活用した現場見学会、体験学習を併用した現場見学会を紹介

### ○市町村役場等における進捗状況発信

・市町村役場や道の駅、観光施設等において「モニター」「説明看板」や「かわら版」「HP」による情報発信を紹介

### ○地域とのコミュニケーションを重視した取り組み

・施工企業のCSR活動の見える化を紹介

## ◆市町村別における「見える化」の取り組み

### ○岩手県内

・市町村で実施する現場見学会や広報に掲載等の取り組みを紹介  
・好事例を紹介

### ○宮城県内

・市町村で実施する現場見学会や広報に掲載等の取り組みを紹介  
・好事例を紹介

### ○福島県内

・市町村で実施する現場見学会や広報に掲載等の取り組みを紹介  
・好事例を紹介

# 復興道路・復興支援道路の見える化(平成27年度)

～総延長584kmのうち230km開通済 177km新規開通見通し～



凡例	
<span style="background-color: orange; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	H28年度開通予定
<span style="background-color: green; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	H29年度開通予定
<span style="background-color: blue; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	H30年度開通予定
<span style="background-color: pink; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	H31年度開通予定
<span style="background-color: purple; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	H32年度開通予定
<span style="background-color: black; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	開通
<span style="background-color: grey; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	事業中
<span style="border-bottom: 1px dotted black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	未事業化

## ◇起工式・貫通式等

式典33回開催  
新聞報道59回  
テレビ放映50回



三陸沿岸道路 釜石山田道路  
(岩手県大槌町) (H28年2月)

## ◇現場見学会等

79回開催  
約3,070人参加  
前年度  
67回開催  
約2,700人参加



三陸沿岸道路 気仙沼道路  
(宮城県気仙沼市) (H27年8月)

## ◇市町村等での進捗状況等の発信

- ・市町村ロビー 25箇所
- ・道の駅等 26箇所
- ・現地看板 55箇所

合計106箇所で進捗状況等の発信を行った。

三陸沿岸道路 洋野階上道路  
(岩手県九戸郡洋野町) (H27年10月)



## ◇HP等による情報発信

3.11 復興道路・復興支援道路情報サイト  
**復興道路**  
 このホームページは、「復興道路」「復興支援道路」の進捗状況や国民の皆様方にお伝えするために作成しています。  
[復興道路トップページ](#) [復興道路の概要](#) [各県のお問合せ](#) [事業進捗状況](#) [開通目標](#) [リンク](#)

○事業区間の開通目標を更新しました (H28.4.21)

### 復興道路・復興支援道路の概要

下図の県名・市町村名・路線名をクリックすると詳細ページへ移動します。



### ●記者発表

- 平成28年
- 5月27日 **記者発表** 三陸沿岸道路(気仙沼道路)の概況について、地元市庁舎(気仙沼市)でお知らせ
- 5月19日 **記者発表** 復興道路「復興道路」の概況について、地元市庁舎(岩手県洋野町)でお知らせ
- 5月12日 **記者発表** 復興道路「復興道路」の概況について、地元市庁舎(岩手県洋野町)でお知らせ
- 5月9日 **記者発表** 復興道路「復興道路」の概況について、地元市庁舎(岩手県洋野町)でお知らせ
- 4月25日 **記者発表** 復興道路「復興道路」の概況について、地元市庁舎(岩手県洋野町)でお知らせ

### ●進捗に関する新規情報

- 5月27日 **記者発表** 復興道路「復興道路」の概況について、地元市庁舎(岩手県洋野町)でお知らせ
- 5月27日 **記者発表** 復興道路「復興道路」の概況について、地元市庁舎(岩手県洋野町)でお知らせ
- 5月27日 **記者発表** 復興道路「復興道路」の概況について、地元市庁舎(岩手県洋野町)でお知らせ
- 5月17日 **記者発表** 復興道路「復興道路」の概況について、地元市庁舎(岩手県洋野町)でお知らせ

### ●県別進捗状況

- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 福島県

### ●路線別進捗状況

- 三陸沿岸道路(岩手県～宮城県)
- 宮古盛岡横断道路(宮古～盛岡)

# 復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(1)

## ●住民参加による各種式典の開催

- ◆工事の節目に行う式典(安全祈願祭、連結式等)において住民参加の各種式典を開催。
- ◆工事の進捗状況について理解を深め、地域とのコミュニケーションを重視。

【宮古盛岡横断道路 <sup>くざかい</sup>区界道路】  
新区界トンネル安全祈願祭《岩手県宮古市》  
(H27.6.28)



▲岩手県内最長(約5,000m)となるトンネルの安全祈願祭に、地域の方々等を招き開催。

【相馬福島道路 <sup>りょうぜん</sup>霊山道路】  
(仮称)犬飼大橋連結式 《福島県伊達市》  
(H28.1.29)



▲地域の方々や地元の小学生等を招いて連結式を開催。

# 復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(2)

## ●現場見学会における進捗状況の説明

- ◆小中学生や地域の方々、土木を専門に学んでいる高校生・大学生、復興道路等の事業を支援していただいている団体や自治体等、様々な方々が現場見学会に参加。
- ◆夏休みを活用し親子で参加できる現場見学会の開催、体験学習を併用した現場見学会の開催等、工夫を凝らした現場見学会を開催。

### 【三陸沿岸道路 山田宮古道路】

地元の小学生による現場見学会  
《岩手県下閉伊郡山田町》



▲(仮称)山田第2トンネルを見学(H27.11.26)

### 【三陸沿岸道路 気仙沼道路】

夏休みを利用した現場見学会《宮城県気仙沼市》



▲ボルトの締め付け体験(H27.8.5)

# 復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(3)

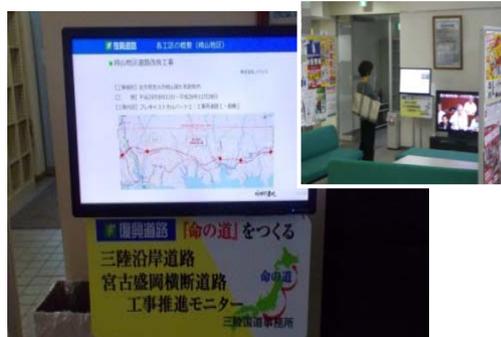
## ●市町村役場等における進捗状況発信

- ◆地域の方々が集まる市町村の役場・道の駅や観光客が集まる観光施設等においてモニター、かわら版、HP等を活用し、復興道路等の必要性や工事の進捗状況を発信。
- ◆地域の方々や道路利用者、観光客等を対象に進捗状況の見える化の取り組みを実施。

### ①復興道路等の沿線市町村ロビー等における情報提供の工夫



▲市役所のカウンター脇の小スペースを活用しモニターより情報を発信  
(岩手県釜石市)



▲市役所の休憩スペースを活用しモニターより情報を発信  
(岩手県宮古市)

### ③現場広報ポイントにおける説明看板の工夫



▲「吉浜釜石道路 荒川トンネル」では説明看板に三次元平面図を活用  
(岩手県釜石市)



▲統一看板への開通目標の掲示(福島県相馬市)

### ②沿線道の駅等における情報提供の工夫



▲メイン通線の進捗状況を発信



▲道の駅「区界高原」における工事進捗状況の発信  
(岩手県宮古市)



▲道の駅「南相馬」における工事進捗状況の発信  
(福島県南相馬市)

### ④「かわら版」やHPによる情報発信



▲進捗状況をお知らせする「かわら版」



▲東北地方整備局の復興道路ポータルサイト(HP)

# 復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(4)

## ●地域とのコミュニケーションを重視した取り組み

◆次代を担う子供たちを含めた地域とのコミュニケーションをより重視して、施工企業のCSR活動とともに見える化の取り組みを実施。

・三陸沿岸道路山田宮古道路では、ダンプトラック目線による「ヒヤリ・ハットMAP」を作成し小学校へ配布、卒業・入学おめでとう看板の設置、工事の進捗状況をお知らせするインフォメーションセンターの開設等を行い、地域とのコミュニケーションを深める取り組みを実施。

・相馬福島道路相馬西道路では、地元の方々を招待し、現場見学会を実施。

【三陸沿岸道路 山田宮古道路】  
山田宮古道路安全連絡協議会

【相馬福島道路 相馬西道路】  
今田高架橋上部工工事 《福島県相馬市》



▲地域の皆様からの要望に応え、「ヒヤリ・ハットMAP」を作成し、小学校へも配布(H27.5)



▲卒業・入学おめでとう看板を設置(H27.3~4)



▲インフォメーションセンター開設(H27.8.5)



▲今田高架橋の桁架設状況を地元の方々が見学(H27.6.3)

▲常磐道交差部を一括架設

# ○ 市町村別における「見える化」の取り組み

【岩手県】

盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡市ホームページで復興道路を紹介</li> <li>・築川福祉センター(築川支所)に宮古盛岡横断道路事業概要パネル及び新区界トンネル工事進捗パネルを設置</li> </ul>
宮古市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催で地元住民等を対象とした復興道路等現場見学会の実施</li> <li>・川井総合事務所、新里総合事務所に宮古盛岡横断道路事業概要パネル及び新区界トンネル工事進捗パネルを設置</li> <li>・道の駅を主会場とした産業祭に事業紹介展示コーナーを確保</li> <li>・市広報紙で「震災復興5年の高規格幹線道路網整備状況」を特集掲載</li> <li>・市広報紙で工事進捗状況を掲載</li> <li>・市役所ロビーでの工事進捗情報提供モニター及び工事進捗チラシの設置</li> <li>・三陸国道事務所主催の事業進捗パネル展への協力</li> </ul>
大船渡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所ロビーにモニターを設置し工事進捗状況をお知らせ(H25.1～継続)</li> <li>・市役所ロビー吉浜地区拠点センター、道の駅「さんりく」で「工事状況のお知らせ」を配布</li> <li>・市広報で「三陸沿岸道路の進捗状況」を2頁、「吉浜道路」開通のお知らせを4頁にわたり特集掲載【事例1】</li> </ul>
久慈市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所・支所・公民館等での工事進捗チラシの設置、HPへの掲載。</li> <li>・市広報紙に工事進捗状況を掲載</li> <li>・久慈秋祭りにおける「北リアスみちづくり女性の会」と合同による道路整備促進啓発活動(チラシの配布)の実施</li> </ul>
遠野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「道の駅」遠野風の丘に事業進捗パネルを設置</li> <li>・市役所ロビー及び後方支援資料館に事業進捗パネル等を設置(H27.3～)</li> <li>・地元住民を対象とした現場見学会に主催者として対応(バスの運行等)</li> </ul>
陸前高田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所、各コミュニティセンター、物産センター、一本松茶屋で「工事状況のお知らせ」を配布</li> <li>・「復興まちづくり情報館」に復興道路等の工事進捗をお知らせするモニター、パネルを設置</li> <li>・地域の女性を対象とした「現場見学会」を主催</li> </ul>
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所市民課及び各生活応援センターで「工事状況のお知らせ」を配布</li> <li>・鶴住居生活応援センターで「釜石山田道路かわら版」を掲示</li> <li>・市役所市民課に復興道路等の工事進捗をお知らせするモニターを設置(継続)</li> <li>・道の駅「釜石仙人峠」内で「釜石道路かわら版」を掲示</li> <li>・地域の女性を対象とした「現場見学会」を主催</li> </ul>
大槌町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大槌町役場、中央公民館、生井沢集會場に「かわら版」を掲示、配布</li> <li>・役場ロビー及びショッピングセンターに復興道路等の工事進捗をお知らせするモニターを設置</li> <li>・小学生とその保護者を対象とした「まちづくり現場見学会」を主催</li> </ul>
山田町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場及び町民ホールでの工事進捗チラシの設置</li> <li>・町民ホールでの工事進捗情報提供モニターの設置</li> <li>・町広報紙とともに工事進捗チラシの配布</li> <li>・町広報紙に工事進捗状況を掲載</li> <li>・観光協会ブログで工事進捗を発信【事例2】</li> </ul>
岩泉町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場での工事進捗チラシの設置</li> <li>・工事進捗チラシの施工業者との連名発行、町内回覧とともに工事進捗チラシの配布</li> <li>・町広報紙に工事進捗状況を掲載</li> <li>・現場見学会の調整</li> </ul>
田野畑村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場での工事進捗チラシの設置</li> <li>・田野畑牛乳フェアの際のパネル展開催</li> <li>・村広報紙に協議会における清掃活動や現場見学会記事などを掲載</li> </ul>
普代村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場での工事進捗チラシの設置</li> <li>・村広報紙に工事進捗状況を掲載</li> <li>・普代まると元気市の際のパネル展開催</li> </ul>
野田村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場内電子掲示板での工事進捗状況の提供</li> <li>・地区回覧とともに工事進捗チラシの配布</li> <li>・村広報紙に工事進捗状況を掲載</li> </ul>
洋野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町役場ロビーでのパネルの展示、整備促進懸垂幕の設置</li> <li>・村内イベント(文化祭等)の際のパネル展開催</li> <li>・役場等での工事進捗チラシの設置</li> </ul>



## ○ 市町村別における「見える化」の取り組み

【宮城県】

石巻市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政教室において市民を対象に三陸道の現場見学会を実施し、見識を深めて頂いた。</li> <li>・市の総合防災訓練において矢本石巻道路の避難階段を利用した訓練を実施。</li> </ul>
塩竈市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報誌で復興特集を毎月掲載</li> <li>・平成25年9月より、市役所ロビーに復興情報コーナーを設置</li> <li>・宮城県と塩竈市が連携し、市内大型商業施設に復興情報コーナーを設置【事例1】</li> </ul>
気仙沼市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「海の市」に気仙沼湾横断橋の模型を展示</li> <li>・「海の市」において復興道路等の工事進捗を知らせるパネルを展示</li> </ul>
登米市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迫総合支所において復興道路等の工事進捗を知らせるパネルを展示</li> </ul>
南三陸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さんさん商店街において復興道路等の工事進捗を知らせるパネルを展示</li> <li>・町広報紙にて整備状況を周知</li> </ul>
東松島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の総合防災訓練において矢本石巻道路の避難階段を利用した訓練を実施。【事例2】</li> </ul>

## 【宮城県】

### 【事例1】 市内大型商業施設に復興情報コーナーを設置(塩竈市)



### 【事例2】 防災訓練にて矢本石巻道路の避難階段を利用した訓練を実施(東松島市)



## ○ 市町村別における「見える化」の取り組み

【福島県】

福島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島市ホームページで復興道路を紹介</li> <li>・市役所展望ロビー等2箇所において、復興支援道路の事業概要・工事進捗をお知らせするパネルを設置</li> </ul>
相馬市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや広報誌「広報そうま」に事業進捗状況等を掲載(H27継続)【事例1】</li> <li>・市役所ロビーにおいて復興道路工事の進捗状況を掲載(H27継続)</li> <li>・地域住民に進捗状況を周知するために復興道路の現場見学会を開催</li> </ul>
南相馬市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所ロビーにおいて復興道路工事の進捗状況を掲載(H27継続)</li> </ul>
伊達市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「だて市政だより」による事業概要・工事進捗等の情報提供</li> <li>・市役所及び支所等5箇所において、復興支援道路の事業概要・工事進捗をお知らせするパネルを設置</li> <li>・市内各小・中学校27校に工事状況ポスターを掲示</li> <li>・地域及び沿線団体に現場の進捗状況を周知するために、窓口を設け、積極的に現場見学会を募集した</li> </ul>
桑折町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「広報こおり」に復興道路の記事を掲載。【事例2】</li> <li>・役場において、復興支援道路の事業概要・工事進捗をお知らせするパネルを設置</li> <li>・桑折町ホームページのトップに復興道路・事業促進PPPのバナーを設定し紹介</li> </ul>
国見町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国見町ホームページに復興道路紹介ホームページをリンク</li> </ul>
新地町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町役場ロビーにおいて復興道路工事の進捗状況を掲載(H27継続)</li> </ul>

# 【福島県】

## 【事例1】 ホームページで事業進捗状況等を紹介(相馬市)

**【区間概要】**

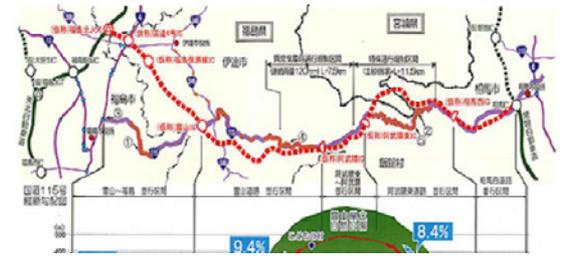
区間	住所	延長	備考
相馬西道路	相馬市山上～相馬市山上	6.0km	平成30年度開通予定
阿武隈東道路	相馬市山上～相馬市東玉野	10.7km	平成28年度開通予定
阿武隈東～阿武隈	相馬市東玉野～伊達市蓋山町石田	5.0km	平成29年度開通予定
蓋山道路	伊達市蓋山町石田～伊達市蓋山町下小国	12.0km	平成29年度開通予定
蓋山～福島	伊達市蓋山町下小国～桑折町松原	約11km	平成28年度事業着手

相馬福島道路 延長約45km

**概要はこちら(PDF 1.19MB) >>**

**一般国道115号(相馬～福島間)の現状**

国道115号(相馬～福島間)は、相馬～福島間を結ぶ重要な路線です。しかし、多数の線形不良箇所や事前通行規制区間等があり、信頼性や速達性において問題があります。平成10年には大雨による落石で約1ヶ月間の全面通行止めが発生し、物流、生活、観光等、多方面に大きな影響が出ました。一方で、東日本大震災では緊急輸送道路として利用される等、防災面においても重要な位置付けにあります。



**■国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所では、相馬福島道路(蓋山～福島)の事業促進を図るため、平成26年度から事業促進PPP(Public Private Partnership)制度を導入しております。**

**事業促進PPP (蓋山～福島)**

**復興支援道路**

**【構造規格】**

- ▽道路規格: 第1種第3級
- ▽車線数: 2車線
- ▽設計速度: V=60km/h

**【区間概要】**

## 【事例2】 広報誌に復興道路の記事を掲載(桑折町)

**県北と相馬をつなぐ復興支援道路**

# 桑折高架橋が着工

「21世紀の道分」完成に向けて動き出す

**建設位置**  
蓋山IC-福島北JCT(いずれも仮称)  
隣の桑折町大字成田字栗向田内

**構造設計概要**  
全長1218.6m(国道約45%の中で最長)、高さ約30m、片側1車線で幅員12m。一部区間は東北新幹線と東北線の上部をまたいで建設

**開通目標時期**  
工事状況を見極めた上で決定

相馬～福島をつなぐ「命の道」東日本大震災からの力強い復興に貢献

**桑折町**  
町長 高橋宣博

**国土交通省東北地方整備局**  
局長 川藤弘之

新たな交通の要衝となる桑折高架橋の存在は、県民が復興を実感できる象徴。まさに「21世紀の道分」の誕生であり、1日も早い完成を切望しています。

相馬福島道路は浜通りと直結し、米沢や秋田までつながる。東北全体でも非常に重要な路線となります。事故なく安全・安心な工事に努めていただきたいと思います。

3 | 広報こおり 平成28年6月号

広報こおり 平成28年6月号 | 2

# 復興道路の活用・整備効果について

平成28年6月15日

宮城県土木部

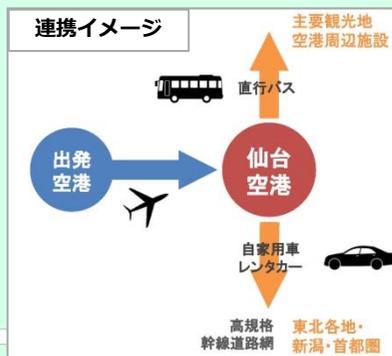


# ① 高規格道路の観光振興への活用

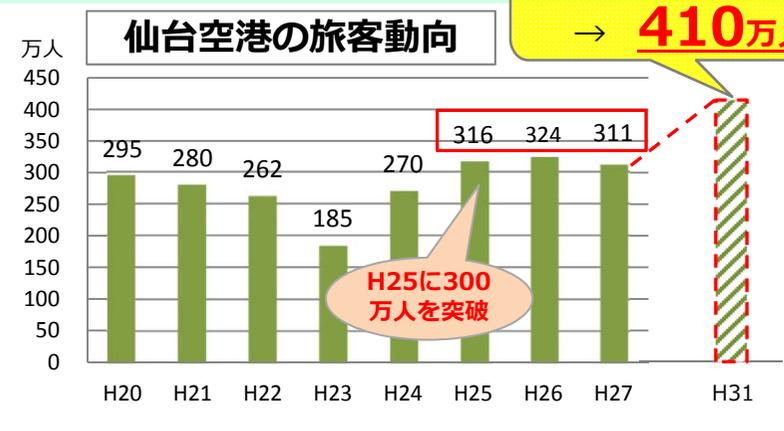
平成28年3月30日の「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）」においては、「**観光先進国**」の実現に向けた取組みの一つとして、『**高速道路などの高速交通網を活用した「地方創生回廊」**を完備し、**全国どこへでも快適な旅行を実現**』することとしている。

本県では、今年7月1日、国管理空港として**全国初となる仙台空港の民営化**が実現し、**路線の拡充や増便などにより、さらに利便性が高まる**ことが期待される。

これを契機に、空港を運営する仙台国際空港株式会社と連携し、**官民一体となった東北の広域観光推進等に取り組む**ことにより、**広く東北全体に経済効果を波及**させていく。

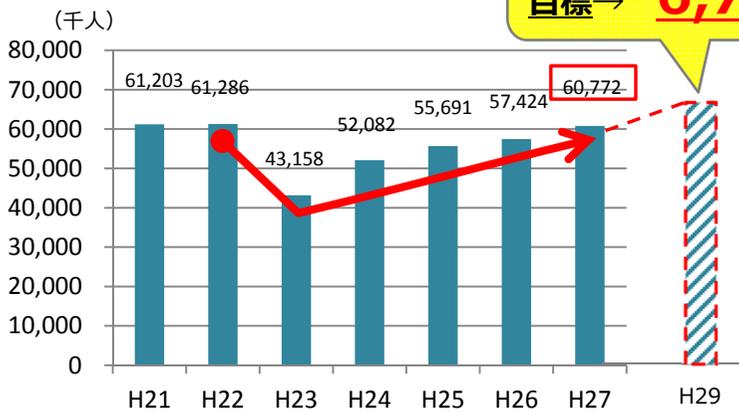


平成32年の旅客数目標 → **410万人**



仙台空港の乗降客数は、**3年連続300万人を突破**し、平成27年は**311万人**を記録

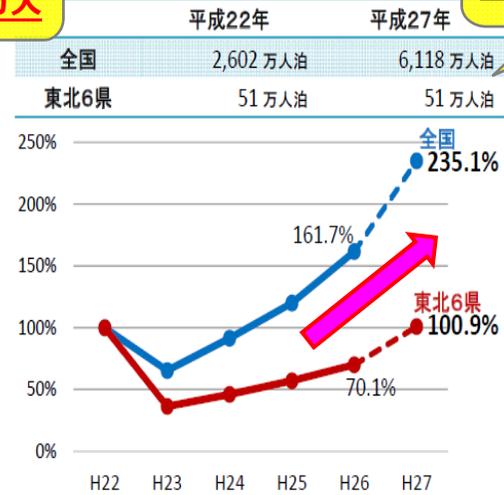
## 宮城県への観光客入込数



平成29年の観光客入込数目標 → **6,700万人**

宮城県への観光客入込数は、H26比で**335万人増**で、震災前(H22)の**99.2%**まで回復

## 外国人宿泊者数の推移



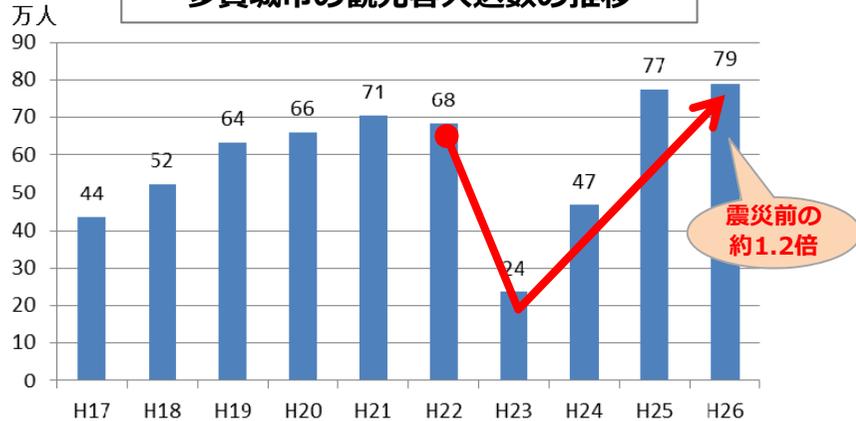
平成32年の東北の外国人宿泊者数目標 → **150万人**

観光客入込数・旅客数・外国人宿泊者数の目標達成に向けて、**空港民営化**によって利便性向上を図るとともに、**三陸沿岸道の延伸効果**を十分に活用しながら**広域的な観光推進**に取り組む

出典：東北観光アドバイザー会議資料 (復興庁)(28年4月15日)

## ②観光振興における多賀城ICの効果

多賀城市の観光客入込数の推移



- 多賀城市の観光入込み数は震災の影響で平成23年は約24万に減少。
- 平成26年の入込数は**79万人**で震災前(平成22年)の約**116%**となっており、順調に回復している。
- 多賀城IC**開通により、国の特別史跡である、「多賀城政庁跡」や「東北歴史博物館」などの観光施設へのアクセスが向上し、**観光振興に更なる効果**が期待される。

### 「政宗が育んだ”伊達”な文化」が日本遺産に認定

平成28年4月25日、文化庁が認定する「日本遺産」に19府県の19件が新たに追加され、宮城県からは「**政宗が育んだ”伊達”な文化**」(仙台市・塩竈市・多賀城市・松島町)が選ばれた。

- 日本遺産とは・・・  
地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定するもの。ストーリーを語る上で欠かせない、魅力溢れる有形・無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、**地域の活性化を図ることを目的**としている。



### 「うみの杜水族館」入館者数約150万人達成

仙台のうみの杜水族館は、5日、目標だった入館者数100万人を昨年11月16日に達成し、最終的に約50万人を超過した。入館者のうち、年間パスポート利用者は延べ40万5000人だった。

同館の担当者は「年間パスポート利用者は、予想を上回り好評だった」と話し、9月6700人だったと発表した。

初年度の入館者数は79万6700人だったと発表された。

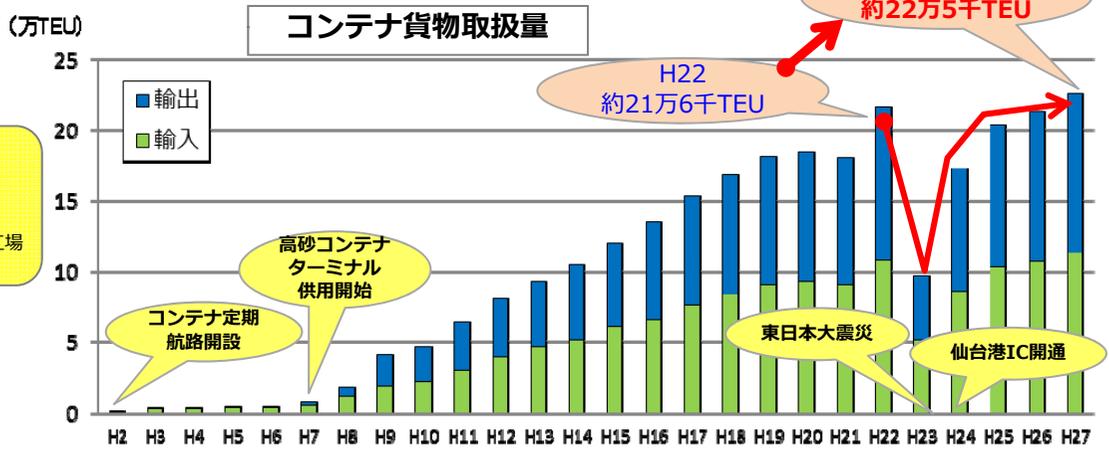
平成28年4月1日 河北新報朝刊

**三陸道沿線に位置し、さらに日本遺産も含む豊富な観光資源を最大限に活かし、沿岸地域の観光振興を図っていく**

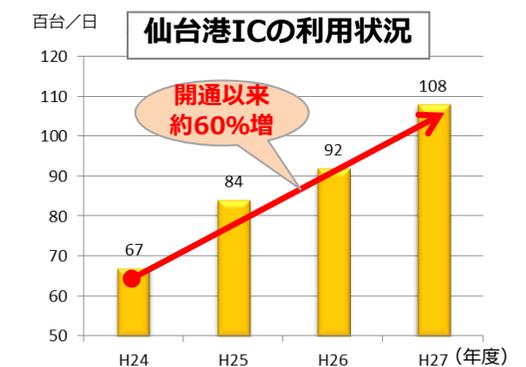
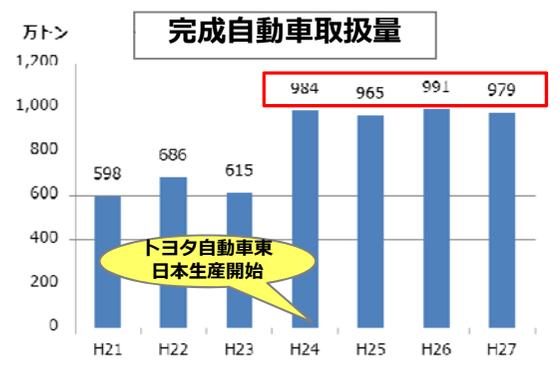
### ③物流における4車線化の効果

4車線化の完成によって  
仙台北部の中核工業団地群と  
仙塩釜港のアクセスが格段に向上

- 大衡IC開通 : 平成22年12月
- トヨタ自動車東日本(旧セトル自動車)生産開始 : 平成24年5月
- 仙台港IC開通 : 平成24年12月
- 仙台北部道路全線開通 : 平成25年12月
- 仙塩道路4車線化・多賀城IC開通 : 平成28年3月



平成27年の仙塩釜港コンテナ貨物取扱量は、速報値で約22万5千TEUを記録。平成26年比で約**106%**となり、震災前(平成22年)を初めて上回り、**過去最高**となる見込み。



仙塩釜港の取扱品目の中では、**完成自動車**が最も多く、平成24年にトヨタ自動車東日本が生産開始してから、毎年960万ト以上を継続。**仙台港IC**も、開通以来**着実に利用者が増加**している。

☆トヨタ自動車東日本(株)関係者の声  
「4車線化により朝夕のラッシュ時間帯の渋滞が解消され、**輸送時間を一日通して平準化**できました」

☆トヨタ輸送(株)関係者の声  
「三陸道と北部道路の**合流箇所がスムーズ**になった」「4車線化に伴い慢性的な渋滞が緩和したことから、分刻みで運行しているトラックやトレーラーの**時間通りの運行が可能**となった」「仙台港IC出口の交差点の混雑を改善してもらいたい」

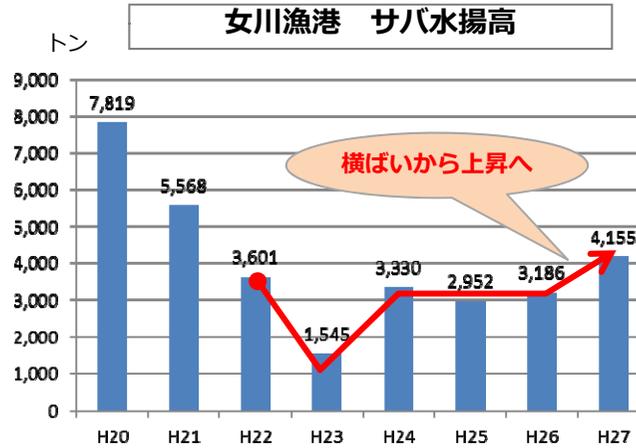
↓

**仙台港関連の物流をさらに強化**するため、**仙台北部道路の4車線化**が重要な課題

# ④地域振興へのIC設置の効果



## 女川町の水産業の支援



平成27年のサバの水揚げ量は平成26年比で**130%**となり、震災前の平成22年度を初めて上回った。  
また、サンマは、**24,506トン**、約23億円の水揚げを記録し、数量、金額とも、本州で**3位**を誇る実績となった。

## 石巻女川ICが観光振興に大きく寄与

平成27年12月23日～27日に開催された、「おながわ復興まちびらき2015冬」での記念式典ご来賓等(町外の方)への聞き取りでは、「女川」の名称がある「石巻女川IC」が検索しやすく、実際に利用され、石巻～女川までの移動時間は短縮されているとの感想。

平成27年12月23日開館した女川町まちなか交流館の来館者数は施設整備当初、来館者は「年間約84,000人」を見込んでいたが、平成28年1月～3月までの三ヶ月間で26,868人を記録。月平均8,956人を×12ヶ月で試算すると「年間100,000人以上」が見込める。



石巻女川ICの開通に加え、三陸沿岸道路の延伸及び4車線化や、石巻バイパスが完成すれば、石巻圏域の水産業や観光振興にさらに大きな波及効果が期待できる

# ⑤ 三陸道沿線で進む企業立地

**気仙沼市**  
**★食品製造業関連産業**  
 総事業費 **4億円**  
 操業開始 H27.12  
 ※気仙沼ICから約4.1km, 車で約7分

**★食品製造業関連産業**  
 操業開始 H27.4  
 ※気仙沼北ICから約0.3km, 車で約1分

平成27年11月13日  
日刊工業新聞

**宮城・気仙沼、大森が新工場**

**人材獲得目指し 水産業「脱3K」**

デザイン性高め女性確保



**南三陸町**  
**★食品製造業関連産業**  
 投資額 **7億円**  
 操業開始 H27.8  
 ※志津川ICから約1km, 車で約1分

**南三陸町志津川地区**

志津川IC 産業誘導エリア 南三陸海岸IC



被災のヤマウチ 被災のヤマウチ 被災のヤマウチ

平成27年8月3日  
日経新聞

**石巻市**  
**★食品製造業関連産業**  
 立地決定 H27.5  
 総事業費 **57億円**  
 年間出荷見込 **9,000ト**  
 稼働予定 H29.4  
 ※石巻港ICから約2km, 車で約2分

**石巻市湊西地区**

石巻市上釜南部地区, 下釜南部地区



平成27年5月20日  
河北新報朝刊

**石巻工場を移転新築**

「移転」の県市と立地協定

石巻市は、県市と立地協定を結ぶことで、市内の工場を移転・新築する計画を発表した。協定は、市内の工業団地を有効活用し、地域の産業振興を図ることに着目している。移転先は、市内の工業団地であり、交通アクセスが良好で、立地環境も優れている。新築は、最新の設備を導入し、生産性を向上させることとなる。移転・新築は、平成28年度に完了予定である。




**東松島市大曲浜地区**

筑波大業VB 高機能油向け藻類量産 30億円で宮城に工場

平成27年7月31日  
日経新聞

★藻類加工業  
 立地決定 H27.7  
 総投資額 **30億円**  
 地元雇用 **30人**  
 ※石巻港ICから約3.5km, 車で約5分



**多賀城市一本柳地区**

平成28年3月23日  
河北新報朝刊

**多賀城に野菜加工工場**  
 17年 コープ東北 復興団地に

平成28年5月20日  
日刊建設新聞

**年内5社工場着工**

新工業団地で建設ラッシュ

多賀城市の八幡一本柳

★食品製造業関連産業  
 立地決定 H28.3  
 事業費 **16億円**  
 年間出荷見込額 **43億円**  
 稼働予定 H29.9  
 ※仙台港北ICから約2km, 車で約2分



## ⑥企業アンケートの実施

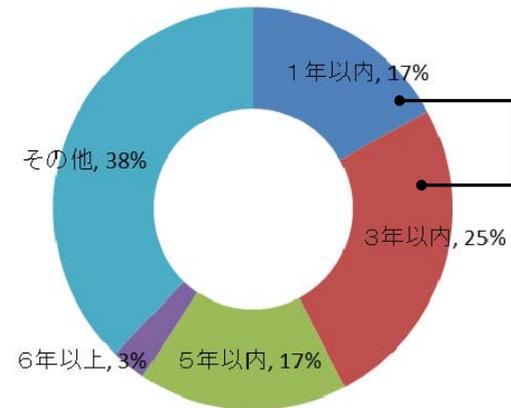
本県では、被災沿岸部において、防災集団移転促進事業に伴う移転元地や、土地区画整理事業などにより整備した公有地・民有地への産業商業の誘導促進に取り組んでいるが、その一環として、企業の意向等を把握するため、UR都市機構と共同で企業アンケートを実施

- アンケート実施：平成27年12月～平成28年1月
- アンケート集計：平成28年度1月末時点
- 回答数／発送総数：983／5,244社（発送総数比19%）
- 立地検討企業数：**177社**（発送総数比3%）

※業種

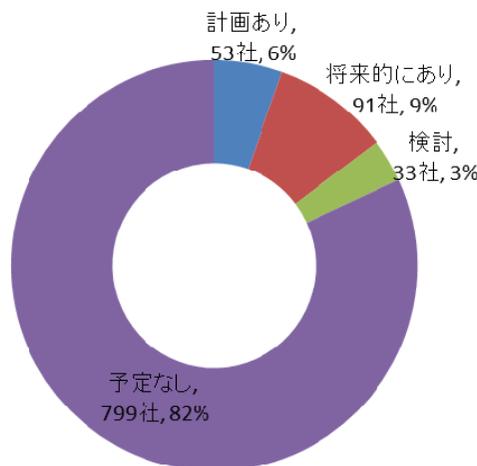
- ①生活利便施設：県内に既店舗、事務所がある小売商業、飲食及びサービス業等
- ②製造業：水産加工・食品加工業、物流等
- ③その他、業界団体の会員

### Q：立地時期（重複あり）



3年以内が  
約4割

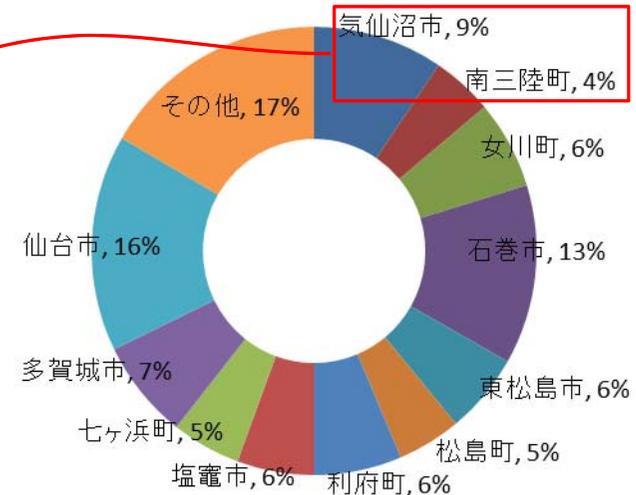
### Q：立地可能性



### 立地検討企業数

**177社**

### Q：立地場所として関心をもっている場所（重複あり）

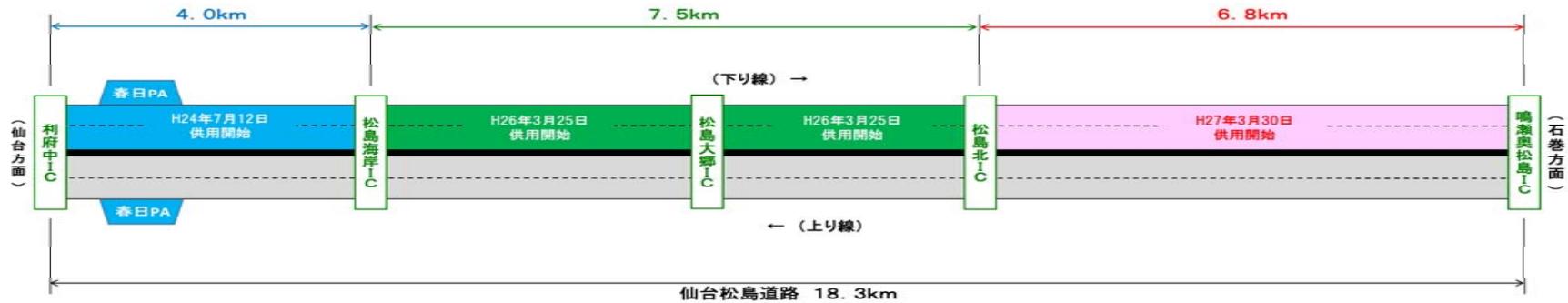


企業立地促進に向けて、三陸沿岸道路の今後延伸区間に大きな期待がかかる

# 仙台松島道路 整備効果

1. 4車線供用前後の交通の状況
2. 4車線供用前後の車種別交通量の状況

# 1. 4車線供用前後の交通の状況



## 1. 交通量の推移

(台/日)

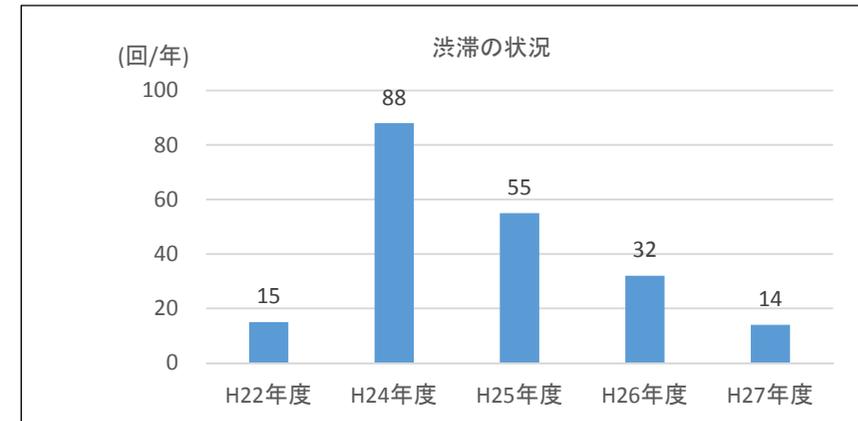
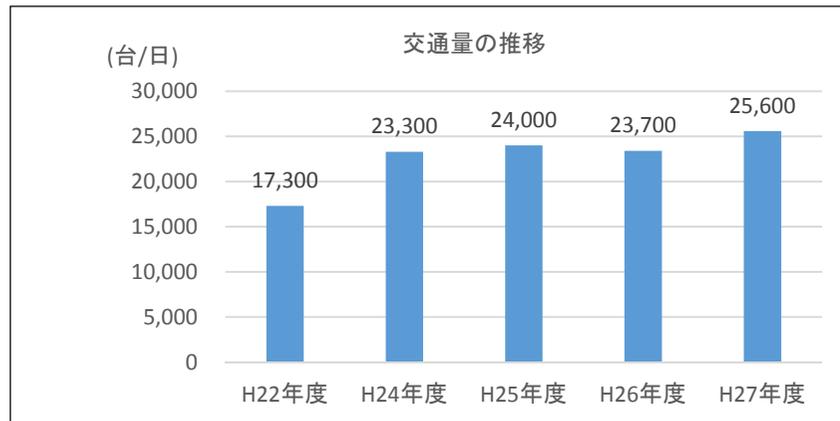
	震災前	震災後			
	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
交通量	17,300	23,300	24,000	23,700	25,600
H22年度比		135%	139%	137%	148%
前年度比			103%	99%	108%

## 2. 渋滞の推移

(回/年)

	震災前	震災後			
	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
回数	15	88	55	32	14
H22年度比		587%	367%	213%	93%
前年度比			63%	58%	44%

※ 鳴瀬奥松島本線料金所の出入り日平均交通量  
H23年度は震災に伴う無料化による異常値のため除外



○ 4車線完成前後（H26年度とH27年度）比で **8%増加**。

震災後は震災前に比して **平均41%増**で推移。

○ 4車線完成前後（H26年度とH27年度）比で **56%減少**。

(H27年度の主な渋滞はGW期間中の松島海岸出口渋滞によるもの)

## 2. 4車線供用前後の車種別交通量の状況

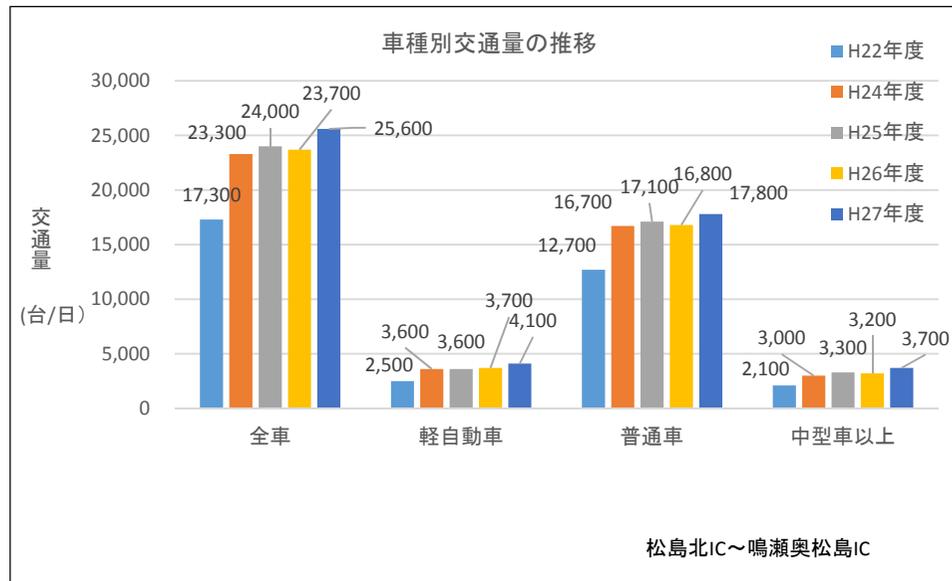


車種別交通量

	(台/日)						
	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H27-H26 増減	増減率
全車	17,300	23,300	24,000	23,700	25,600	1,900	108%
軽自動車	2,500	3,600	3,600	3,700	4,100	400	111%
普通車	12,700	16,700	17,100	16,800	17,800	1,000	106%
中型車以上	2,100	3,000	3,300	3,200	3,700	500	116%

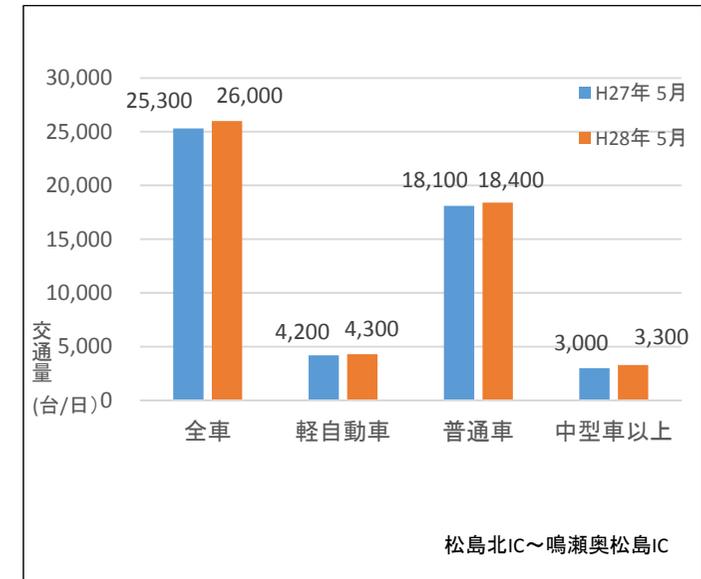
(参考)直近の車種別交通量

	(台/日)			
	H27年 5月	H28年 5月	増減	増減率
全車	25,300	26,000	700	103%
軽自動車	4,200	4,300	100	103%
普通車	18,100	18,400	300	102%
中型車以上	3,000	3,300	300	110%



○ 4車線完成前後（H26年度とH27年度）比で、全車で8%増加。  
特に、中型車以上の交通量が16%増加。

(参考)直近の車種別交通量



○ 全年度比で、全車種の交通量が増加。  
特に、中型車以上は、10%増加。

# 常磐自動車道の整備効果・事業状況

平成28年6月15日

東北支社 建設事業部

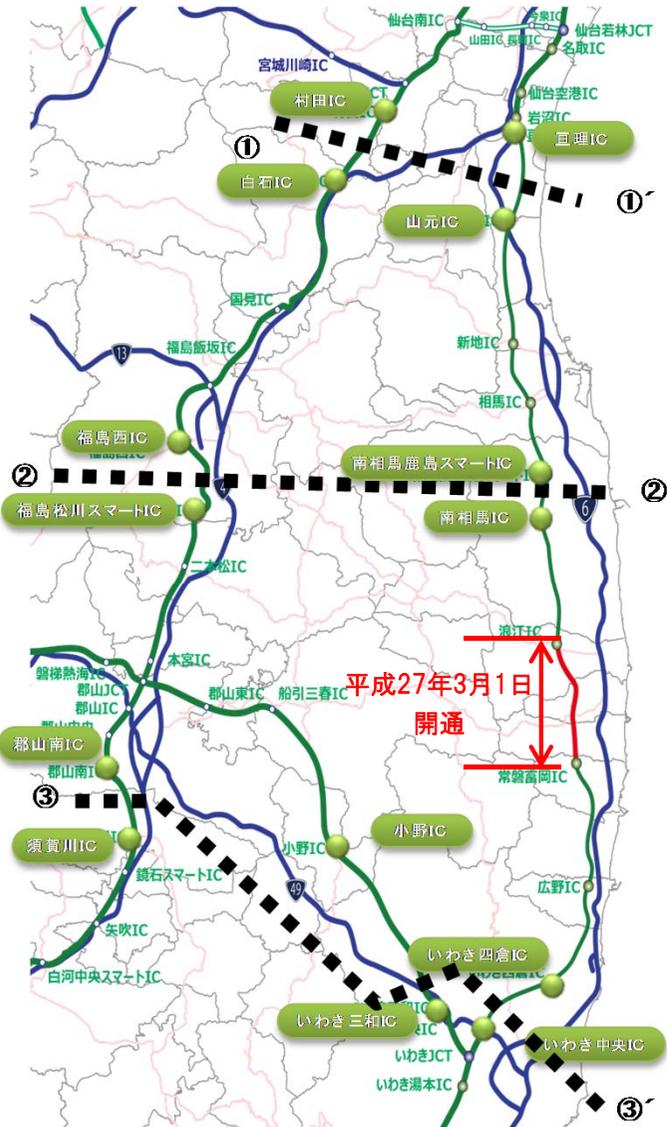


# 1. 宮城県内における事業箇所

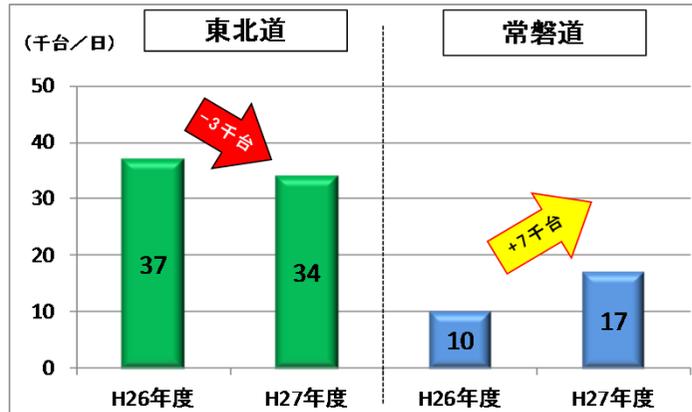


## 2. 常磐自動車道開通に伴う交通状況

■ 常磐道全線開通後の平成27年度の交通量は、前年度と比べ、東北道が減少(約1~4千台)、常磐道が増加(約6~7千台)

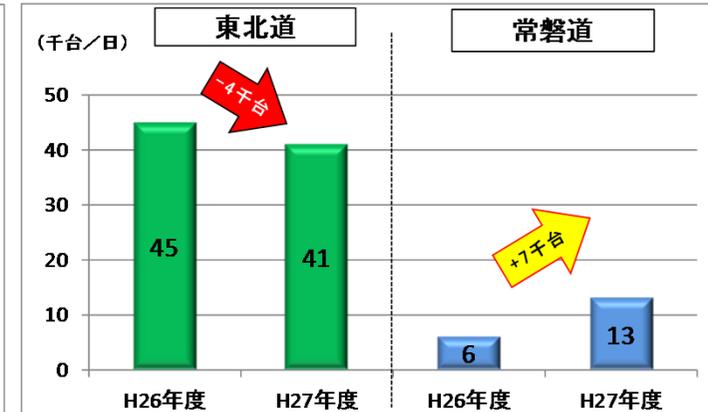


①-①' 断面



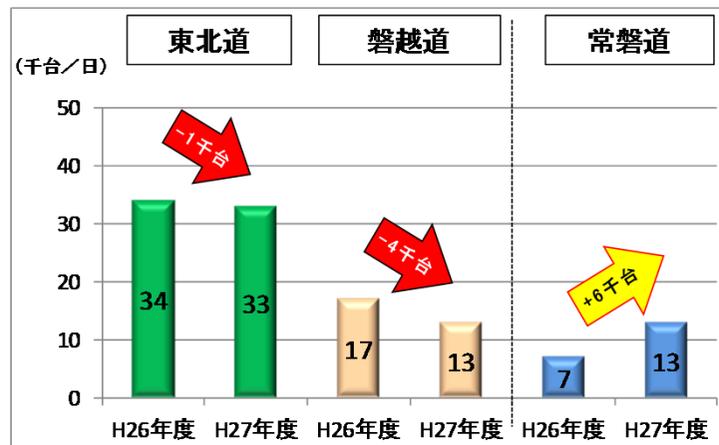
-東北道: 村田IC~白石IC間  
-常磐道: 亘理IC~山元IC間

②-②' 断面



-東北道: 福島西IC~福島松川スマートIC間  
-常磐道: 南相馬鹿島スマートIC~南相馬IC間

③-③' 断面



-東北道: 郡山南IC~須賀川IC間  
-磐越道: 小野IC~いわき三和IC間  
-常磐道: いわき四倉IC~いわき中央IC間

【出典: NEXCO東日本データ】

・H26年度: 平成26年度の日平均値  
・H27年度: 平成27年度の日平均値

# 3. 常磐自動車道全線開通後の整備効果(全線開通6ヶ月後)①



～ 福島・宮城沿岸地域の観光交流人口が震災以降最高を記録 ～

- 常磐道沿線の福島県・宮城県の主要観光地(都市)では、観光入込客数が、震災以降最高を記録
- 常磐道沿線の主要観光地では、常磐道を利用した県外からの来訪者が増加するとともに、観光消費額も25億円増加し、経済活性化に寄与

## 常磐道を利用した来訪者の変化

【 】: 経路を加味しない場合の割合

常磐道を利用した観光来訪者の割合  
(松島町⇄関東圏※1) 0%⇒8%

<期間>H26: 8/7~17 【3%⇒9%】  
H27: 8/6~16 (H26)⇒(H27)

常磐道を利用した観光来訪者の割合  
(相馬市⇄関東圏※1) 0%⇒10%

<期間>H26: 7/26~28 【0%⇒12%】  
H27: 7/25~27 (H26)⇒(H27)

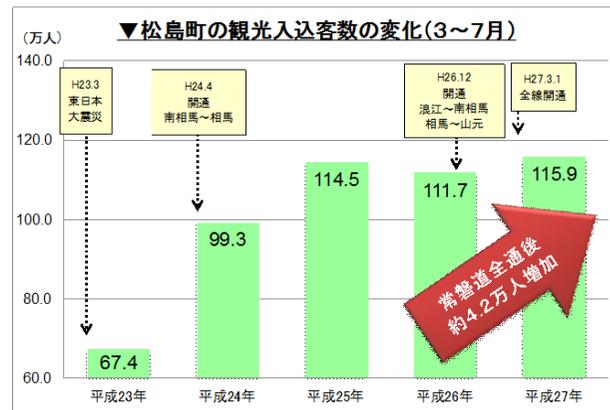
常磐道を利用した観光来訪者の割合  
(いわき市⇄宮城県以北※2) 0%⇒5%

<期間>H26: 8/7~17 【3%⇒7%】  
H27: 8/6~16 (H26)⇒(H27)

※1 茨城、千葉、東京、神奈川  
※2 青森、岩手、宮城、秋田

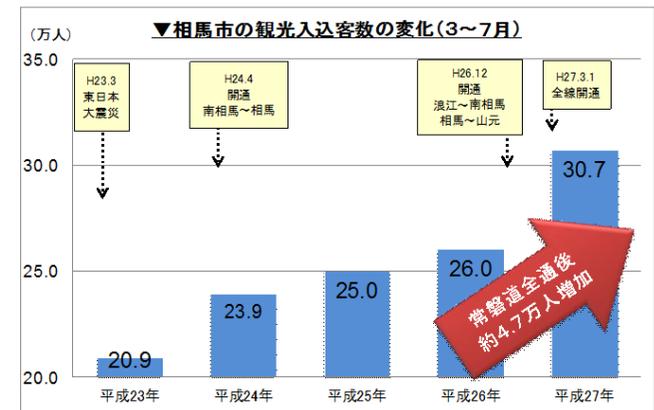
出典: 携帯カーナビプローブデータ

## 松島町の観光入込客数が4.2万人増加



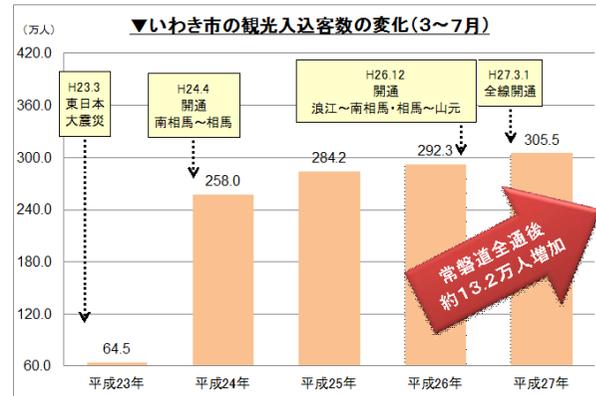
出典: 松島町(速報値)

## 相馬市の観光入込客数が4.7万人増加



出典: 相馬市(速報値)

## いわき市の観光入込客数が13.2万人増加



出典: いわき市(速報値)

3地域の観光来場者が約22万人増加



入場料・食事・お土産などの  
観光消費額が約25億円増加

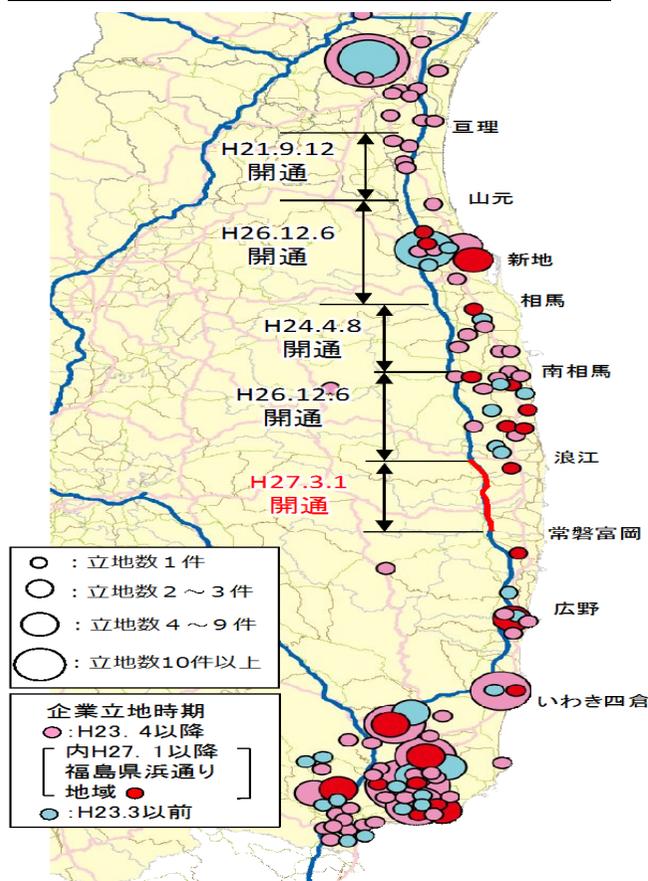
# 3. 常磐自動車道全線開通後の整備効果(全線開通6ヶ月後)②



## ～ 福島県浜通り地方への企業立地増加・雇用拡大 ～

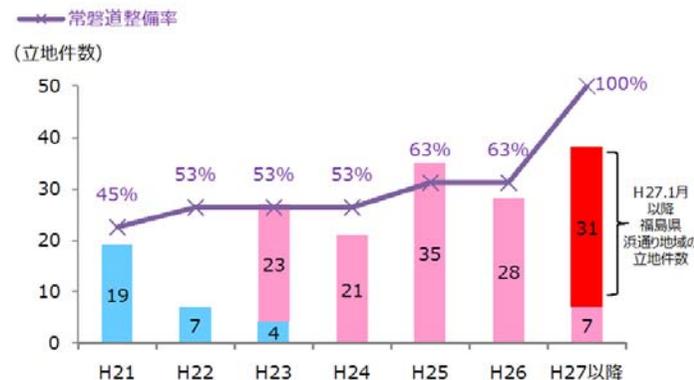
- 現時点(H27.6)で、沿岸地域の企業立地数は、過去最高を記録
- 平成27年1月以降の福島県浜通り地域の企業立地による経済効果は約550億円
- 浜通り地域における新規高等学校卒業者求人倍率は、企業立地とともに着実に増加、地域雇用確保に貢献
- 浜通り地域の企業立地が地域の経済を牽引

### ▼常磐道沿線地域での工場増新設の動き



出典:福島県企業立地課  
 宮城県産業立地推進課  
 ※企業立地年は、土地取得時の操業予定年を示す

### ▼常磐道沿線地域の工場増新設件数の推移

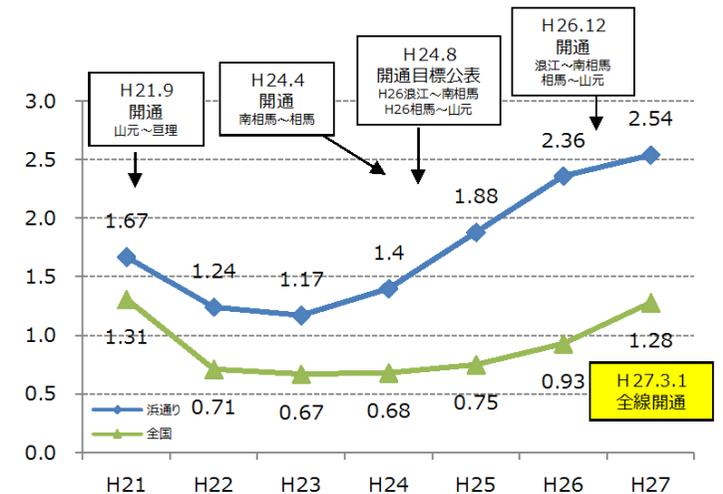


常磐道沿線地域:いわき市、南相馬市、相馬市、新地町、飯舘村、  
 広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、  
 双葉町、浪江町、葛尾村、名取市、岩沼市、  
 亘理町、山元町  
 ※常磐道整備率は、各年4月1日時点

平成27年1月以降の  
 福島県浜通り地域の企業立地31件による  
 経済効果は約550億円

※福島県内の立地企業(福島県調べ)の投資額(予定額も含む)を基に算出

### ▼浜通り地域における新規高等学校卒業者求人倍率



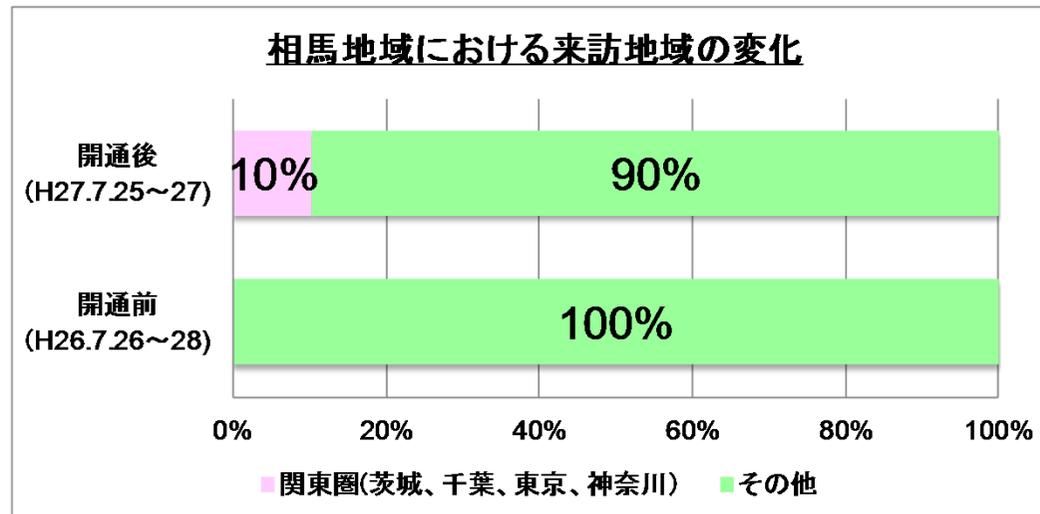
資料:厚生労働省福島労働局・厚生労働省 ※各年6月の値  
 浜通り地域:いわき市、南相馬市、相馬市、新地町、飯舘村、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、  
 双葉町、浪江町、葛尾村

# 3. 常磐自動車道全線開通後の整備効果(全線開通6ヶ月後)③

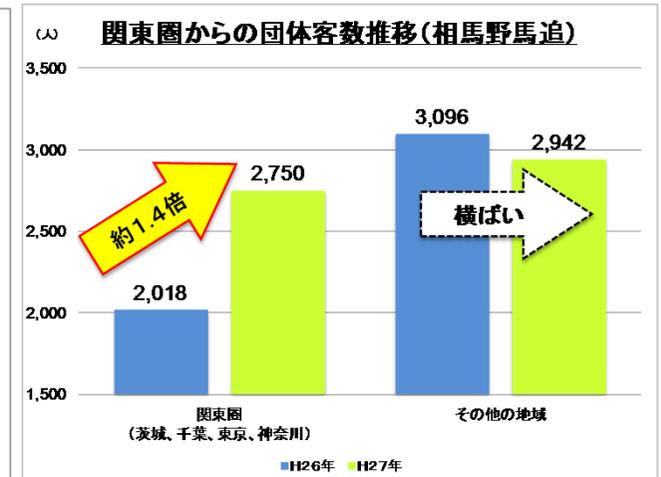
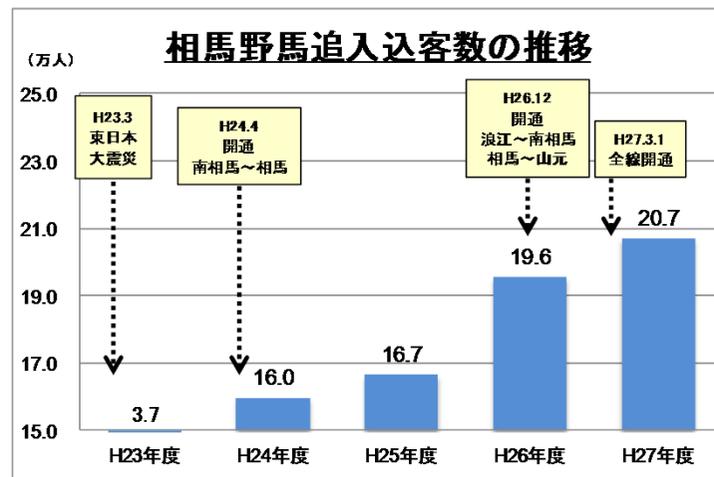
## ～ 地域の伝統文化の活性化に寄与 ～

- 相馬地域で行われている相馬野馬追では、震災以降はじめて観光入込客数が20万人を突破
- 関東圏※からの団体客が大幅に増加(約1.4倍)
- 地域伝統文化の活性化に大きく寄与

※茨城、千葉、東京、神奈川



※常磐道利用者の割合を集計  
出典: 携帯カーナビプローブデータ



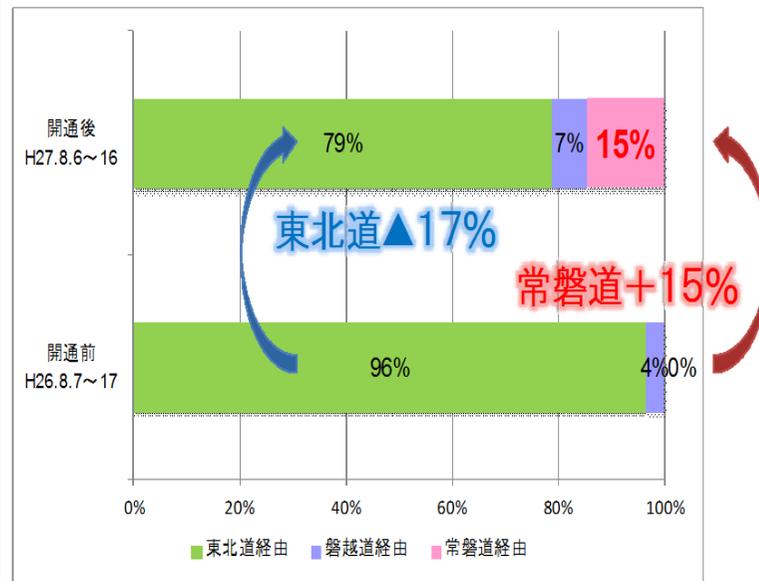
### 3. 常磐自動車道全線開通後の整備効果(全線開通6ヶ月後)④

～ 混雑する東北道から常磐道へ、ダブルネットワーク機能を発揮 ～

- 常磐道の全線開通により例年交通渋滞が著しい東北道の渋滞が減少  
(昨年と比較し、福島県内の10km以上の渋滞が4回減少)
- 関東方面と仙台以北との利用が東北道から常磐道にシフト、昨年と比べ常磐道利用が15%増加
- 常磐道の全線開通は、東北道の渋滞緩和に大きく寄与し、ダブルネットワークとして機能を発揮



関東⇔東北 利用路線の変化



出典:プローブデータ

【トピックス】お盆渋滞の東北道を回避するため高速バスが常磐道を代替路として活用

- 交通混雑期には東北道の渋滞に巻き込まれ、定時性を確保することが困難(最大3.5時間の遅れ)
- 常磐道が全線開通した今年、一部の便が常磐道に迂回運行を行い定時性を確保



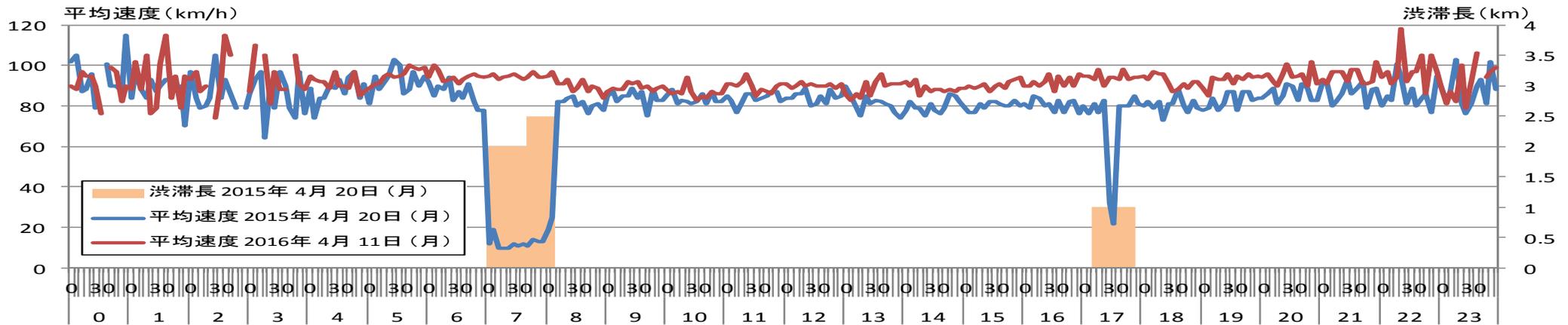
# 4. 仙塩道路開通後の整備効果

～ 4車線化完成により交通集中渋滞が解消 ～

■ 平日の朝夕はほぼ毎日のように渋滞が発生していたが、4車線化後は上下線ともに渋滞実績なし

## ■ 速度・渋滞状況の変化

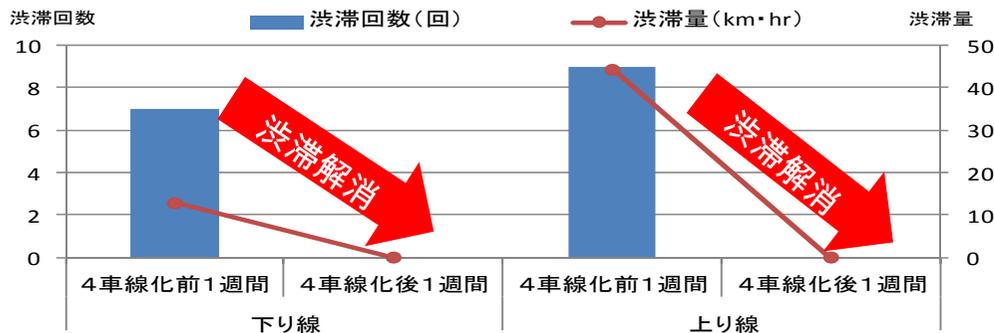
仙台港北IC～利府JCT(上り線)における、速度・渋滞状況の時間変化は以下のとおり。  
 (2015年4月20日は、朝夕に下図のボトルネックを先頭に渋滞が発生。)



※速度はトラフィックカウンター(トラカン)によるもの

## 【渋滞実績】

○4車線化前後1週間の渋滞状況



# 5. 常磐自動車道4車線化(山元IC～岩沼IC間)

## 【位置図】



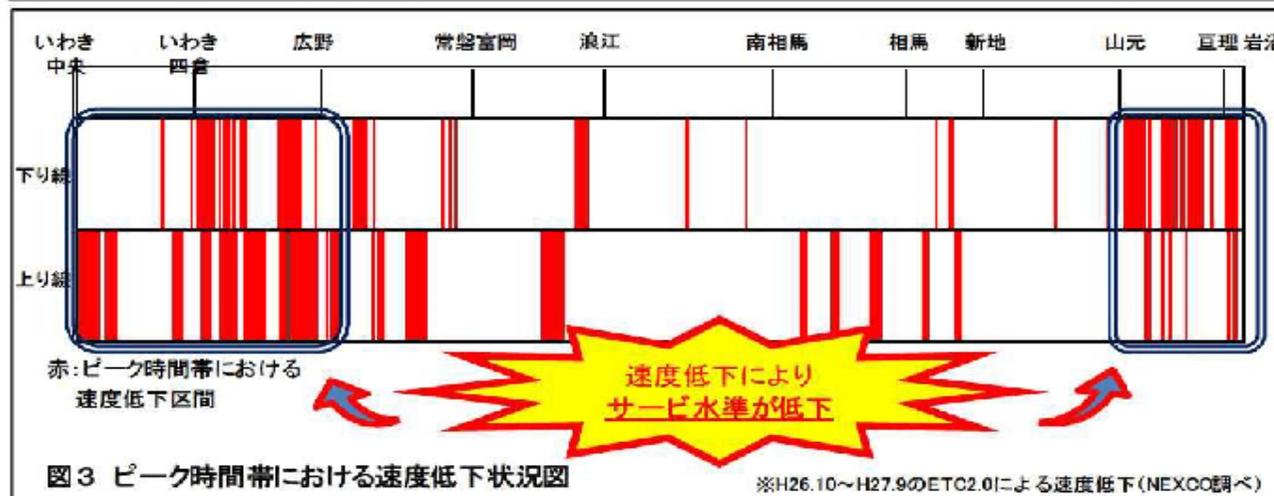
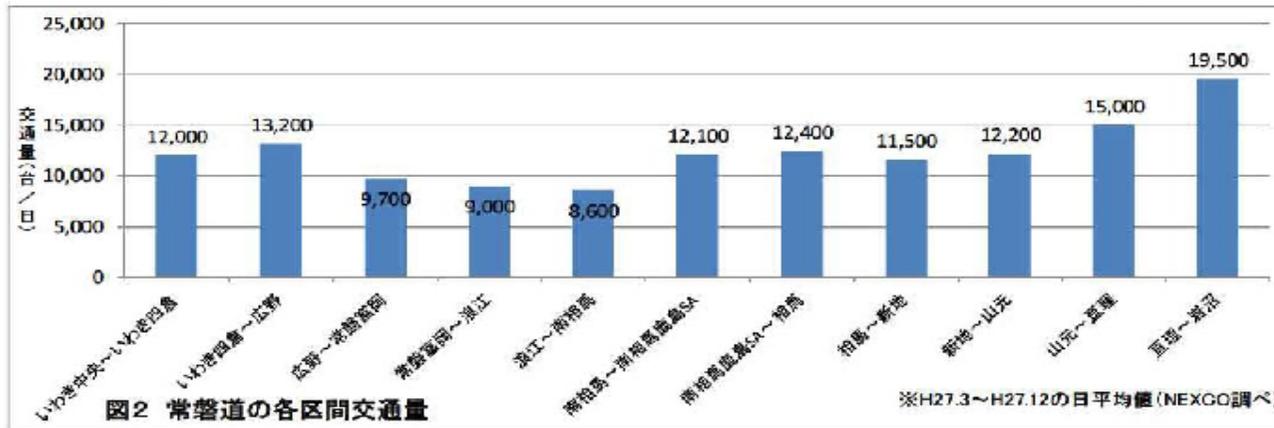
### 《事業概要》

- 延長: 約14km
- 全体事業費: 約400億円(税込)
- 計画交通量: 約17,300台/日

# 5. 常磐自動車道4車線化（山元IC～岩沼IC間）

## 道路交通上の課題

- 交通集中等によるサービス水準の低下
  - ・ 常磐道の全線開通により交通量が増大し、暫定2車線区間では最大で約2万台の交通量(図2)
  - ・ 暫定2車線区間では、交通集中時や上り坂、サグ部、合流部等で速度低下が見られる状況であり、サービス水準が低下(図3)
  - ・ 復興事業の本格化に伴い、並行する国道6号の慢性的な渋滞が発生



# 石巻女川 IC・石巻女川インター線の整備効果



開通式 (H27.10.4)

石巻市

# 石巻女川 IC・石巻女川インター線の整備効果

## 【整備効果】

- **命をつなぐ道 ～救急搬送時間の短縮～**
  - 東日本大震災時に救急医療の拠点となった石巻赤十字病院への搬送時間が短縮され、外来患者や救急搬送患者数が増え、より多くの命を救うことができた。
- **新たな交流を興す道 ～広域観光圏の形成～**
  - アクセス向上による行動範囲の拡大から、観光客を呼び込むことができた。
  - 観光交流が落ち込む冬場でもスポーツが楽しめる総合運動公園の人工芝グラウンドで、サッカーやラグビーの大会を開催し、雪の多い地域からも広域的に人を呼び込み、冬季の交流人口の増加を図っていく。
- **地域産業の後押し ～物流の効率化～**
  - 朝夕の交通混雑が緩和され、企業の物流の効率化を支援。
  - 現在整備中の渡波稲井線とのネットワーク化で運送時間の短縮が期待され、魚介類の鮮度を保つことができる。

## 【新聞記事】

H28.4.3 石巻かほく

### 三陸道石巻女川ICが開通



### 救急搬送時間の短縮



石巻赤十字病院



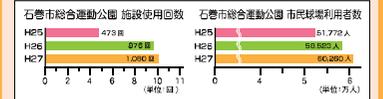
### 広域観光圏の形成

**観光客数 石巻市**

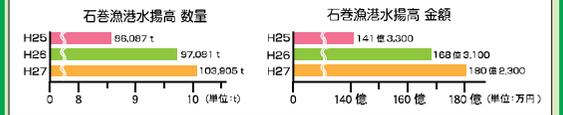
年	観光客数
H25	2,205,969人
H26	2,171,400人
H27	2,380,009人



### スポーツ交流



### 物流の効率化



# 救急搬送時間の短縮

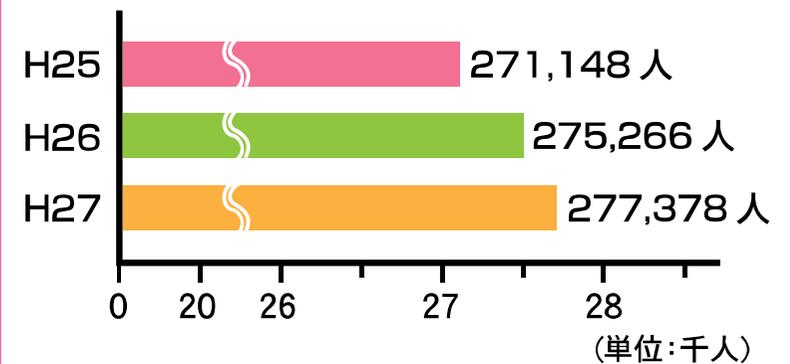
## ● 命をつなぐ道

- 東日本大震災時に救急医療の拠点となった石巻赤十字病院への搬送時間が短縮され、外来患者や救急搬送患者数が増え、より多くの命を救うことができた。

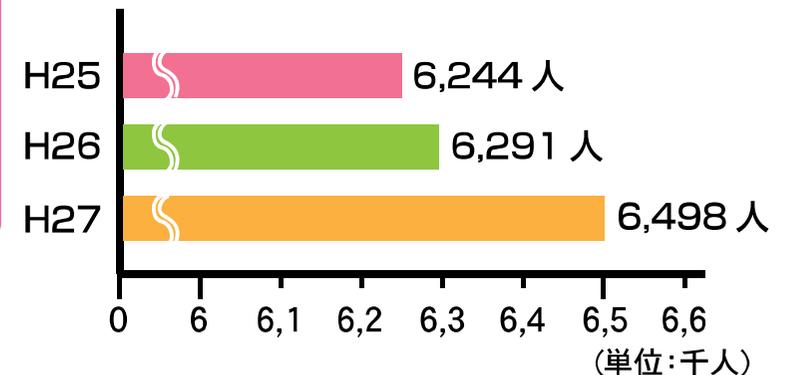


石巻赤十字病院

### 外来患者延べ数



### 救急搬送患者数



# 広域観光圏の形成

## ● 新たな交流を興す道

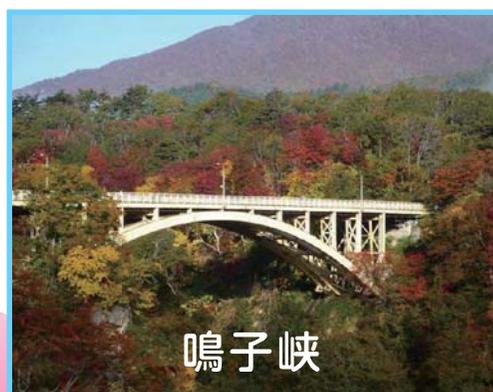
- ・ アクセス向上による行動範囲の拡大から、観光客を呼び込むことができた。



登米



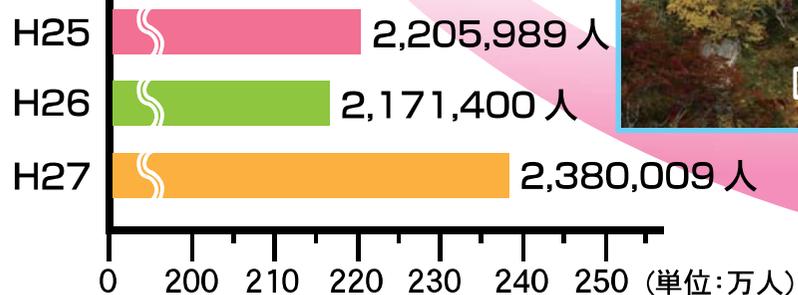
大崎



石巻



観光客数  
石巻市



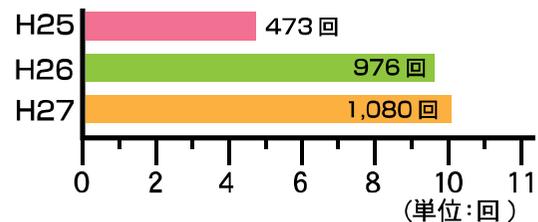
# スポーツ交流

## ● 新たな交流を興す道

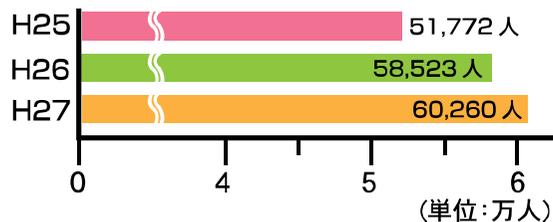
- ・ 観光交流が落ち込む冬場でもスポーツが楽しめる総合運動公園の人工芝グラウンドで、サッカーやラグビーの大会を開催し、雪の多い地域からも広域的に人を呼び込み、冬季の交流人口の増加を図っていく。



石巻市総合運動公園 施設使用回数



石巻市総合運動公園 市民球場利用者数



# 物流の効率化

## ● 地域産業の後押し

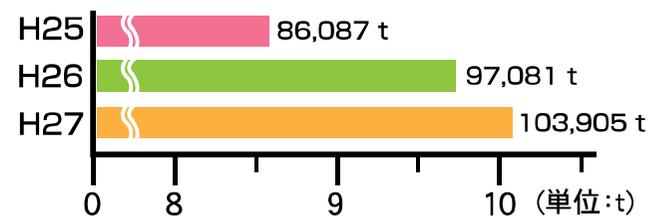
- ・朝夕の交通混雑が緩和され、企業の物流の効率化を支援。

石巻魚市場

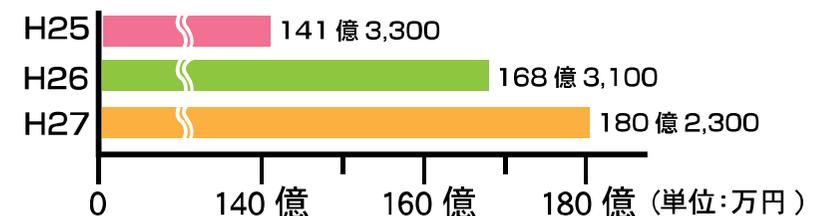


- ・現在整備中の渡波稲井線とのネットワーク化で運送時間の短縮が期待され、魚介類の鮮度を保つことができる。

石巻漁港水揚高 数量



石巻漁港水揚高 金額



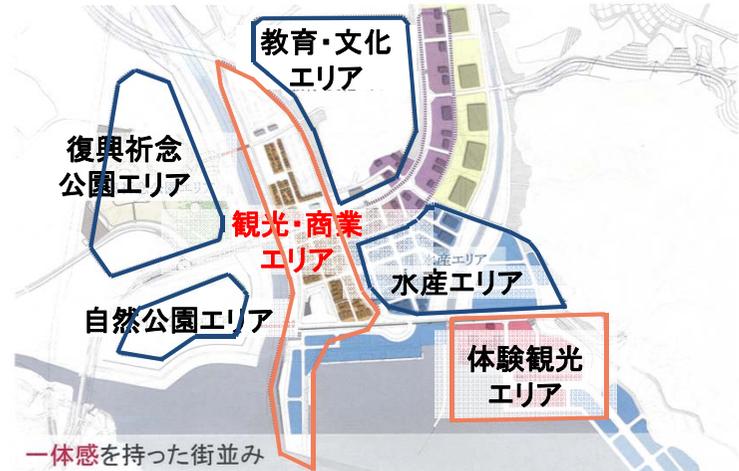
# 産業振興・自然環境～なりわいと賑わいのあるまちづくり

資料8-2  
南三陸町

商工・観光の整備  
交流人口の拡大



## 中心市街地の形成 新たな中心市街地の整備促進

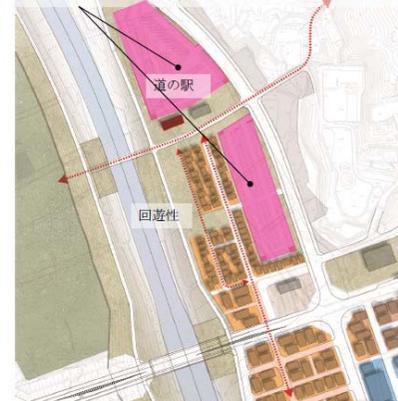


一体感を持った街並み  
多様な特徴を持つエリアがグラデーション的に連続し、  
街全体に一体感を生み出します。

南三陸町志津川地区グランドデザイン

### 道の駅となる駐車場

観光客向けの駐車場を設置します。公衆トイレや簡易休憩所を併設。



## 観光交流の振興 移住・定住の促進

本町においては震災の影響もあり人口減少・少子高齢化が深刻な問題となっており、町が将来にわたって賑わいのある地域社会を維持していくためには観光を主とした交流人口の拡大及び将来を担う世代を中心とした移住・定住の促進を重要な施策と位置付けており、そのため三陸沿岸道路の延伸・供用開始が果たす役割は大きいものである。

### ■観光入込客数の推移

震災が発生した平成23年は、観光入込が約36万人まで低下したが、平成24年時点では約90万人と被災前の9割程度まで回復した。平成25年は横ばいの状態だったが、被災地観光目的の方々の減少等により、平成26年は約76万人と低下傾向となった。

- ・震災により36宿泊施設中、21事業者が被災。再開新規を含め現在は20施設が通常営業
- ・防災・減災・命の学びを目的とした震災ツーリズムの実施
- ・交流拠点としての「南三陸ポータルセンター」がオープン(町内外の交流事業)(平成25年8月)
- ・観光復興推進計画(観光特区)の認定(平成26年12月)



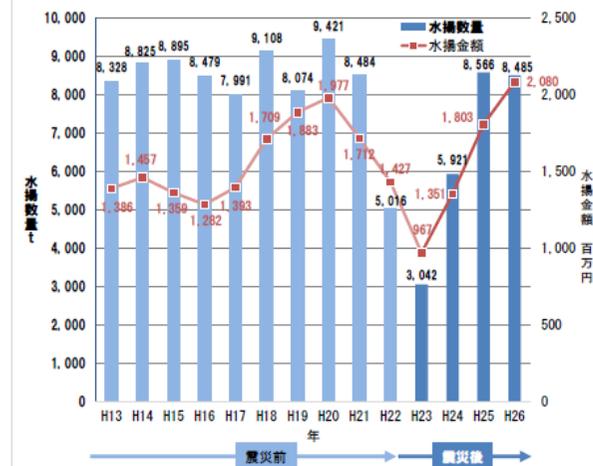
## 水産業の振興

本町の基幹産業である水産業は震災により大きな被害を受けたが、復旧が進み水揚げも震災前の水準に戻ってきており、今後は南三陸町ブランドの確立を目指し販路拡大等に取り組んでいくこととなる。



### ■水産業の復旧

- 町管理漁港  
被災漁港数 19港  
復旧工事着手 19港
- 漁船  
震災前漁船数 2,194隻  
震災後 約1,000隻
- 養殖売上高  
震災前(平成21年度) 約41.3億円  
震災後(平成26年度) 約35.9億円
- 魚市場水揚量  
震災前(平成21年度) 8,484t  
震災後(平成26年度) 8,485t
- 魚市場取引額  
震災前(平成21年度) 約17.1億円  
震災後(平成26年度) 約20.8億円



# 多賀城インターチェンジの開通に伴う効果について



## 1 経過

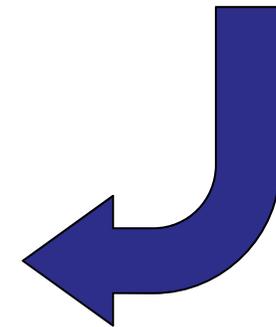
- 昭和58年 都市計画決定
- 平成21年9月 IC建設・仙塩道路4車線化総決起大会開催

## 2 悲願の実現

平成28年3月27日(日)  
仙塩道路4車線化  
(仙台港北IC～利府中IC 7.8km)  
多賀城インターチェンジの開通

## 3 効果

- ボトルネック(渋滞)緩和
- アクセス性の向上→市内滞在時間の充実
- 観光促進→ツアー化の充実  
※広域的には、「松島湾(ワン)ダーランド」の西玄関としての機能充実
- 物流機能の効率化→さんみらい多賀城・復興団地(八幡一本柳地区工業団地)等の物流拠点



# 多賀城インターチェンジの開通に伴う効果について【多賀城市】

